製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000166 2010-0918 2010/05/04 （事故発生地） 山口県	インターホン 松下電工株式会社 ▪(現　パナソニック株式会社) WQS512W	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品のＡＣ１００Ｖ入力端子基板部において、異極端子間で放電した痕跡が認められた。○ＡＣ１００Ｖ入力端子基板部と向かい合うブラウン管式ディスプレーの背面ガラス部に熱溶融が発生し、内部に向かう貫通穴が開いていた。●当該製品のＡＣ１００Ｖ入力端子基板部において、異極端子間でアーク放電が発生し、周辺の可燃物が焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しいため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/05/21)
A201000549 2010-2687 2010/09/14 （事故発生地） 大阪府	電気衣類乾燥機 株式会社ホームクオリティ ＹＡＹ-6026Ａ	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、焼損が著しい強弱切替えスイッチ、オゾン発生スイッチ及びマイクロスイッチ周辺と推定されるが、当該部品の焼損が著しいことから原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/27)
A201000550 2010-2688 2010/09/17 （事故発生地） 埼玉県	電気脱臭装置 株式会社カルモア ｓｔｒｅａｍ型	マンションのゴミ集積場に設置されている当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の生成管ガラスの厚みを薄く変更したことから、生成簡底部が破損して過電流が流れるものの、安全装置がＰＴＣサーミスターを採用していたため、過電流を制御しようとしてヒューズが切れず漏洩放電が発生し、機器内部に堆積した塵・埃や生成管根本のプラスチック部に着火し、出火に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/27)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000712 2010-3206 2010/10/23 （事故発生地） 東京都	無停電電源装置 ㈱エーピーシー・ジャパン（現　シュナイダーエレクトリック㈱） Smart UPS 1500 / SUA1500JB	当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品の部品及び周辺に変色等の発熱した痕跡が見られた。 （火災）	事故原因は、当該製品のコンデンサー製造時の手直し修理工程時に、コンデンサーの端部にストレスが発生するような曲げ加工を行ったため、その後の使用により、コンデンサー内部のリード線接続部において接触不良が生じ、発熱・出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/25)
A201000778 2010-3398 2010/12/10 （事故発生地） 東京都	無停電電源装置 ㈱エーピーシー・ジャパン（現　シュナイダーエレクトリック㈱） APC ES/BE500JP	当該製品から異臭がし、発煙する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の基板上の部品（電解コンデンサー）が故障したことにより、製品作動時に制御回路に誤作動が生じ、パワー素子が発熱・破損し、発煙に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/12/17)
A201001036 2010-4542 2011/02/25 （事故発生地） 北海道	電子レンジ ＬＧ電子ジャパン株式会社［現　LG ELECTRONICS JAPAN(株)］ MJ-50H7	当該製品を使用中、当該製品下部から発煙する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、電装室がもっとも焼損していることから製品内部からの出火と考えられるが、電装室内の部品の焼損が著しいことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/04)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001069 2010-4657 2011/02/17 （事故発生地） 東京都	除湿機 株式会社クマザキエイム EF-888	就寝中、異音と発煙に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	当該製品から出火したものと考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/10)
A201100021 2011-0137 2011/03/10 （事故発生地） 東京都	液晶テレビ 株式会社東芝 19A1	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生し、１名が負傷した。 （火災）	○当該製品内部の電源基板及びメイン基板の焼損が著しく、電源基板が焼失していた。○電源コード等、他の部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の電源基板やメイン基板等の焼損が著しく、確認できない部品もあることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/04/08)
A201100290 2011-1695 2011/07/13 （事故発生地） 静岡県	電気洗濯機 日立アプライアンス株式会社 NW-6GY	店舗で使用している当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の修理時の不具合により、洗剤が浸入する状態となっていたため、コードの絶縁性能が低下し、短絡して出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/07/21)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100326 2011-1749 2011/07/13 （事故発生地） 東京都	除湿機 株式会社クマザキエイム EF-888	当該製品から出火したと考えられる火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品から出火したものと考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/08/04)
A201100415 2011-2407 2011/09/03 （事故発生地） 千葉県	電気洗濯機 日立アプライアンス株式会社 NW-6GY	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の電源配線が断線してスパークが発生し出火に至ったものと考えられるが、断線部分が焼失等により未回収のため、原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/09/15)
A201100516 2011-2849 2011/10/13 （事故発生地） 愛知県	無停電電源装置 ㈱エーピーシー・ジャパン（現　シュナイダーエレクトリック㈱） SU1400J	当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、ノイズ防止用のコンデンサーに部品不良があったため、コンデンサーの内部で異常発熱し、発煙、発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/10/24)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100601 2011-2992 2011/09/26 （事故発生地） 栃木県	電気衣類乾燥機 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） NH-D45K1	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、全体的に焼損が著しく正面ドアが焼失し、コントローラーパネルは焼損して制御基板とともに取付位置から脱落していた。○当該製品内部前面の上下に使用しているＰＴＣヒーターのうち、上側に取り付けられたＰＴＣヒーターの焼損が著しく、ＰＴＣヒーターの端子２個のうち、１個の端子が接続線を含めて回収されておらず、確認できなかった。○制御基板に出火の痕跡は認められず、温度ヒューズは溶断していなかった。○内部配線の被覆は焼損し、芯線は露出していたが、短絡の痕跡は認められなかった。○電源スイッチ及びヒーターリレーの接点に、溶着の痕跡等は認められなかった。●当該製品の残存していた部品に出火の痕跡は認められないが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/11/21)
A201100700 2011-3491 2011/11/30 （事故発生地） 京都府	エアコン パナソニック株式会社 CS-H229A	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、１名が死亡した。 （火災　死亡）	○当該製品は焼損が著しく、ほとんどの電気部品が回収されておらず、確認できなかった。○電源コードが断線し、断線部に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。○同等品を使用して、基板からの出火を想定した実験を行ったが、基板から周囲には延焼しなかった。●当該製品の焼損が著しく、ほとんどの部品が確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/12/15)
A201100715 2011-3488 2011/11/22 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 GEアプライアンス・ジャパン株式会社（現窓口　GEインターナショナルインク） TMJ12ANZRLG	異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品の一部を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の起動用コンデンサーの内部端子の半田付け部が損傷が生じたため、コンプレッサーのコイルが発熱し、ローターがロックしたことで過負荷保護装置から出火したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/12/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100793 2011-3555 2011/12/28 （事故発生地） 北海道	シュレッダー アイリスオーヤマ株式会社 ＳＨ１８Ｈ	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災）	○当該製品は焼損が著しく、樹脂部はほとんど溶融、焼損していた。○当該製品内部の基板の１００Ｖラインが一部焼失していた。○他の残存しているモーターや電源コードに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は焼損が著しく、残存していた電気部品等に出火の痕跡は認められなかったが、基板の一部が焼失していることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/06)
A201100795 2011-3631 2011/12/21 （事故発生地） 石川県	電気ミニマット 森田電工株式会社（現　株式会社ユーイング） ＫＣ－Ｐ４５ＭＲ	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○コントローラー部やマットの大半は焼失し、ヒーター線の一部は確認できなかった。○残存していたマットの内側に、ヒーター線がずれていた痕跡が認められた。○内部配線及びヒーター線に明確な発火の痕跡は認められなかった。○使用者は、普段からベッドの上で当該製品を使用していた。●当該製品は、ヒーター線がずれて重なるなどして過熱し、焼損した可能性が考えられるが、コントローラー部などが焼失して確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/06)
A201100833 2011-3737 2012/01/05 （事故発生地） 京都府	電子レンジ 東芝ホームアプライアンス株式会社（現　東芝ﾎｰﾑﾃｸﾉ株式会社） ER-FE44	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品のメイン基板の電源入力部のコンデンサー又は電源リード線を接続するタブ端子部から出火したものと考えられるが、焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100849 2011-3689 2011/12/26 （事故発生地） 千葉県	蓄熱式電気湯たんぽ 株式会社フロムアイコーポレーション 無し(2011年製造分のうち加熱方式が電極式のもの)	当該製品を充電状態で使用中、当該製品が破れ、火傷を負った。 （重傷）	当該製品内部のサーモスタットの接点が溶着したことにより、加熱が継続され、本体内部の液体が気化して内圧が高くなったため、本体が破れ内部の液体が漏れたものと考えられるが、使用者が、当該製品を付属の保温袋に入れて、大腿部に置いて給電したことも事故発生に影響を与えたものと考えられる。　なお、取扱説明書には「蓄熱充電を行う時は、必ず保温袋から本体を取り出して蓄熱充電を行う」、「本体を体につけた状態で絶対に蓄熱充電をしない」、また、梱包箱には「蓄熱状態でのご使用及び布団・毛布の中での蓄熱充電は行わない」旨が記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/19)
A201100859 2011-3831 2012/01/09 （事故発生地） 宮崎県	テレビ（ブラウン管型） 株式会社東芝 21ZS17	発煙に気付き確認すると、火災が発生しており、建物が全焼した。 （火災）	○当該製品は、電源スイッチがＯＦＦ状態であり、事故当時は主電源が切られた状態であった。○当該製品の焼損が著しく、主電源が切られた状態のとき、電圧が印加されている電源フィルター回路部の部品が確認できなかった。●当該製品の焼損が著しく、確認されていない部品もあることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/20)
A201100893 2011-3905 2012/01/17 （事故発生地） 千葉県	加湿器 株式会社ミュージーコーポレーション（株式会社山善ブランド） DSKI-320P（株式会社山善ブランド）	病院で当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の本体ケースと蒸発皿との間に使用しているシリコンパッキン部に水垢が固着し、シリコンパッキンの厚みが増したため本体ケースに応力が加わったことで本体ケースに亀裂が発生し、当該亀裂から漏れた水がサーモスタット内に侵入したためトラッキング現象が発生したことから、出火に至ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「水アカは放置すると、固着して取れなくなり、安全装置の誤作動や加湿量の低下及び蒸発皿取付部に水アカが侵入し、周りを腐食させて水漏れを生じるなどの故障の原因になる」旨、記載されており、本体ケースや蒸発皿に多くの水垢が認められたことから、それらも影響していると考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/26)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100916 2011-3969 2012/01/20 （事故発生地） 兵庫県	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-E30B	発煙に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のPTC素子が、品質のばらつき等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損、周囲の樹脂部品に着火したため、出火に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年４月１７日プレス公表を行うとともに、平成24年4月17日付けで新聞社告を行い、引き続きホームページに情報を掲載して、無償点検・部品交換を実施する。	(受付:2012/01/31)
A201100917 2011-3977 2012/01/16 （事故発生地） 鹿児島県	デスクトップパソコン 富士通株式会社 FMV-W5240	事業所で当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のHDD内部の基板に搭載しているLSI内部で異常が発生したため、内部短絡が生じ、発煙したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/31)
A201100920 2011-3957 2012/01/21 （事故発生地） 大阪府	電気ストーブ 燦坤日本電器株式会社 FS-850S	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、左側面のスチーム機構部を残し、外郭樹脂部品は焼損していた。○残存していた内部配線類、接点部品、端子部、ヒーター線等に溶融痕や異常発熱の痕跡は認められなかった。○本体下部に取り付けられている運転スイッチ及びタイマー部の焼損が著しいが、内部構造等の仕様が不明であり、未回収部品の有無が確認できなかった。○電源コードが本体出口部から約１０cmの位置で、両方の芯線が半断線を生じ、先端に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。●当該製品内部の残存部品には、溶融痕や異常発熱等の痕跡は認められなかったが、焼損が著しい本体下部の運転スイッチ及びタイマーの構造が不明であり、確認できない部品があることから、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/31)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100924 2011-4009 2012/01/22 （事故発生地） 大阪府	電気カーペット 松下住設機器株式会社（現パナソニック株式会社） DC-2108	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品のコントローラー表面の暖房面積切換スイッチ部周辺が溶融していた。○コントローラー内部の暖房面積切換スイッチの接点部の焼損が著しく、固定接点は回収されておらず、確認できなかった。○当該スイッチ以外の電気部品や電源コードに異常は認められなかった。●当該製品の暖房面積切換スイッチの接点間で接触不良が生じて異常発熱し、火災に至ったものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/02)
A201100925 2011-4010 2012/01/22 （事故発生地） 大阪府	電気毛布 日本電熱株式会社(株式会社東芝ブランド) CB-135	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は布団の中に強状態で１０日間置かれていた。○毛布部は、中央部付近から右半分が焼失しており、焼損部のヒーター線やセンサー線が焼失していた。○焼損していないヒーター線やセンサー線は、絶縁被覆に経年劣化(製造後約40年）による柔軟性の低下が認められるが、変色などの異常は認められなかった。○コントローラーや電源コードなどには、焼損などの異常が認められなかった。●当該製品の確認できた部品には発火痕跡が認められないが、焼損が著しく、過去の使用状況が不明なことから、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/02)
A201100927 2011-3941 2012/01/30 （事故発生地） 石川県	電気ストーブ 燦坤日本電器株式会社 TSK-5303Q	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のロータリースイッチ接続部において、電源電線との間で接触不良が生じたため異常発熱し、出火に至ったものと推定される。	燦坤日本電器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成24年2月24日新聞社告を掲載し、また、ホームページへの情報掲載により、使用中止を呼び掛けるとともに、対象製品について製品回収・返金を実施している。	(受付:2012/02/02)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100945 2011-4065 2012/01/26 （事故発生地） 静岡県	電子レンジ 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） NE-A40	建物が半焼、1名が死亡する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	○出火元は、当該製品やトースターが設置されていた台所の棚付近と推定された。○当該製品は、全体が焼損していたが、右側の操作パネル側の焼損が著しかった。○操作パネル内部のマグネトロン、ドアスイッチ、制御基板、インバーター基板等は全て焼損した状態であり、残存部品に出火の痕跡は認められなかったが、インバーター基板や操作基板に搭載されていた電気部品は、ほとんどの部分が焼失し確認できなかった。●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/06)
A201100953 2011-4062 2012/01/30 （事故発生地） 大阪府	電子レンジ 小泉成器株式会社 KRD-0106	当該製品を使用中、発煙に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品を使用する際に、扉を開閉し、電源の入切が繰り返されることでドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパーク（電気火花）が発生し、トラッキング現象（絶縁破壊による短絡）が起こり、出火に至ったと考えられる。	小泉成器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成１９年９月１２日に新聞社告を掲載し、使用の中止を呼び掛けるとともに、無償改修を実施している。また、同社では、平成２０年３月以降複数回にわたり、テレビＣＭ放送で注意喚起を行い、対象製品について無償改修を呼び掛けています。	(受付:2012/02/08)
A201100955 2011-4108 2012/01/15 （事故発生地） 北海道	浴槽用温水循環器（２４時間風呂） コロナ工業株式会社 CK-150N	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は焼損が著しく、原形をとどめていなかった。○当該製品内部のヒーター用配線の被覆が焼失し、配線の手撚り接続部分に溶融痕が認められたが、修理した者は確認できなかった。○コントロールボックスは焼損が著しく、ボックス内のリレー等の部品はほとんどが焼失していた。○紫外線流水殺菌灯、循環ポンプの配線被覆が焼失し断線部分に多数の溶融痕が認められた。○当該製品は中古で購入したものであった。●当該製品のヒーター用配線の手撚り接続部分、またはコントロールボックス部分からの出火と推定されるが、焼損が著しく、過去の使用状況や修理歴等も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/09)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100964 2011-3934 2012/01/25 （事故発生地） 長崎県	電気冷蔵庫 東京芝浦電気（株）（現、東芝ホームアプライアンス（株）） GR-2008T	当該製品から出火し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約３４年）によって、圧縮機用モーターの始動リレーの接点が接触不良となったため異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、東芝ホームアプライアンス株式会社では、事故の再発防止を図るため、１９８３年以前に製造された電気冷蔵庫について、平成２０年１１月５日から同社ホームページに情報を掲載し、使用中止の注意喚起を行っている。	(受付:2012/02/09)
A201100965 2011-4107 2012/01/21 （事故発生地） 東京都	電気ストーブ（オイルヒーター） 株式会社コンポジット HYT-029FT	当該製品を使用中、当該製品から火花が生じ、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の本体側コードと電源コードを接続する端子台の圧着端子部分のカシメ不良により接触不良が生じて火花が発生し、焼損に至ったものと考えられる。	株式会社コンポジットは、事故の再発防止を図るため、平成２４年５月９日、ホームページへの情報掲載及び購入者への通知を行い、対象製品について無償点検・修理を実施する。	(受付:2012/02/10)
A201100968 2011-4113 2012/01/29 （事故発生地） 神奈川県	電気スタンド ヤマギワ株式会社 50SM-02B6-AW	施設で入居者（70歳代）が指を負傷する事故が発生した。 （重傷）	当該製品のアームは、アームの角度によってアームの間の隙間が開閉し、アームの隙間が閉じた際、アームのヒンジ部の金具がせり出しくる機構となっており、使用者がアームの隙間に指を入れた状態でアームを曲げたため、アームの隙間が閉じてアームとヒンジ部の金具に指が挟まれて、事故に至ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「アームの間に手を入れないで下さい」旨、記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/10)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100980 2011-4161 2012/01/20 （事故発生地） 東京都	電気毛布 森田電工株式会社(現　株式会社ユーイング) 不明	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○火災発生時、家人は不在で、当該製品は通電状態であった。○当該製品は、表示ラベルが焼損しており、型式は特定できなかった。○当該製品は、消防で調査が実施されていたが、情報が得られなかった。●当該製品を確認できないことから、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/13)
A201100997 2011-4190 2012/02/07 （事故発生地） 北海道	電気ストーブ 株式会社インターセントラル SH-1000	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の温度調節ユニット周辺の焼損が著しく、当該箇所から出火したものと推定され、製品に起因する事故と考えられるが、温度調整ユニット内部の部品及び基板の一部が焼失して確認できず、原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/16)
A201100999 2011-4075 2012/02/07 （事故発生地） 大阪府	食器洗い乾燥機（ビルトイン式） 株式会社ハーマン（松下電工(現　ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ）㈱ﾌﾞﾗﾝﾄ FB4503P	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、１０日前から電源ボタンを押しても電源が入らなくなったため、使用されていなかった。○当該製品は全体的に著しく焼損しており、電装基板は焼失して確認できなかった。○本体内底部にある漏電遮断器は、電源入力端子が焼失していた。○漏電遮断器と電装基板間の電流ヒューズは溶断しておらず、内部リレーは開いていた。○他の確認できた電気部品には、出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の漏電遮断器の電源入力部に著しい焼損が認められたことから、当該箇所で異極間短絡が生じて火災に至ったものと考えられるが、短絡の原因が不明のため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101002 2011-4191 2012/02/06 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-WE38A	異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の圧縮機用始動リレーの内部素子（ＰＴＣ素子）が破損していたことから、ＰＴＣ素子の部品不良によって過電流が流れたため、異常発熱し、焼損に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２３年５月３０日から同社ホームページに注意喚起のお知らせを掲載し、無償点検・部品交換を呼びかけている。また、平成２４年４月１６日にプレスリリース、新聞社告等を行い、周知を行っている。	(受付:2012/02/16)
A201101004 2011-4193 2012/02/08 （事故発生地） 東京都	電気こんろ 日立熱器具株式会社（現 日立アプライアンス株式会社） HT-1500（ｻﾝｳｴｰﾌﾞ工業㈱製ﾐﾆｷｯﾁﾝに組み込まれたもの	当該製品の上面に可燃物（電気ケトル）を載せていたところ、可燃物を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品に可燃物を載せる際に誤って上面スイッチが入り、載せていた可燃物に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した「一口電気こんろ」の抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。また、同様のスイッチ構造を持つ、当該製品を含む「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/02/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101008 2011-4197 2012/02/07 （事故発生地） 東京都	電気掃除機 三菱電機ホーム機器株式会社 TC-BD10P	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のパワーブラシ用モーターのカーボンブラシが寿命により摩耗するとともに、当該モーター周辺にゴミが堆積したため、冷却不足となって温度が上昇し、堆積したゴミの変色、炭化、周辺樹脂の変色、変形が生じたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/17)
A201101009 2011-4134 2012/02/08 （事故発生地） 千葉県	オーブントースター アイリスオーヤマ株式会社 EOT-1000	当該製品を使用中、その場を離れたところ、異臭がしたため確認すると、当該製品を汚損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品のタイマースイッチ接点部にわずかに溶着痕が認められたことから、タイマースイッチに一時的な不具合が生じたため、マーガリンを塗ったパンが加熱され続けて発火したものと推定され、製品に起因する事故と考えられるが、事故品のタイマー作動には異常が認められなかったこと及び同等品を使用した再現実験ではタイマー接点部の融着は確認できず、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/17)
A201101017 2011-3856 2012/01/25 （事故発生地） 群馬県	電気ストーブ（オイルヒーター） 株式会社ディンプレックス・ジャパン ROF14J	当該製品を使用中、火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品の焼損が著しく、樹脂部品はすべて焼失していた。○ヒータースイッチ、スイッチ間の渡り配線、可変温度調節器、バイメタル温度調節器などが回収されておらず、確認できなかった。○回収された内部配線の端部の一部に、断線部方向への線径の減少、断線部近傍で一部の素線同士の溶着が認められた。●当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/21)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101021 2011-4240 2012/02/11 （事故発生地） 福岡県	電気カーペット 森田電工株式会社 ･(現　株式会社ユーイング) MC-202S	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、火傷を負った。 （火災）	○当該製品のコントローラー部の設定を確認した結果、電源スイッチは「入」で、暖房面積切替スイッチは右半分の位置であった。○当該製品の上にはカーペットカバーが敷かれた状態であったが、当該製品及びカーペットカバーともに中央付近（全体の約３分の１）が焼け抜けており、一部の部品が確認できず、右半分及び左半分ともほぼ同様に焼け抜けていた。●当該製品のカーペット中央付近の焼損が著しく、部品の一部も確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/22)
A201101029 2011-4266 2012/02/07 （事故発生地） 埼玉県	エアコン 三菱電機株式会社 MSH-4025D	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	○回収調査ができた電装部品はファンモーターのみで、全焼のためその他電装部品は回収できなかった。○当該製品の電源コードでは設置位置から壁コンセントまで長さが３６２ｍｍほど不足しているため届かないが、当該製品のコンセントへの接続方法は、電源コードが焼失しているため不明であった。○回収されたファンモーターはロックしていたが、ベアリングに傷などの異常はなく、また、コイル表面に変色や短絡などの発火した痕跡は認められなかった。○ファンモーターのリード線口出し部にトラッキングなどの痕跡が認められなかった。●当該製品は焼損が著しく、唯一回収されたファンモーターに出火の痕跡は認められなかったが、他の電装部品等が焼失等により確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/23)
A201101030 2011-4267 2012/02/13 （事故発生地） 東京都	ノートパソコン ソーテック㈱（現　ｵﾝｷｮｰﾃﾞｼﾞﾀﾙｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱） AL7180A	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品に使用しているバッテリーパック（リチウムイオン電池）のバッテリーセル内で内部短絡したため、当該製品が焼損したものと考えられるが、バッテリーセル内で内部短絡が生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/23)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101031 2011-4260 2012/02/12 （事故発生地） 群馬県	照明器具 松下電工株式会社（現　パナソニック株式会社） HA8678T EPH	当該製品の点灯操作を繰り返したところ、異音とともに火花が生じ、当該製品の内部部品の一部を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の長期使用（約２３年）により、点灯基板上の抵抗のはんだ部にはんだクラックが生じたため、当該抵抗と接続するトランジスター（スイッチング素子）の動作が不安定となって故障し、抵抗に過電圧が印加されたため抵抗が焼損したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/23)
A201101032 2011-4268 2012/02/15 （事故発生地） 沖縄県	エアコン（室外機） ダイキン工業株式会社 ARR28LS	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は外郭及び内部とも焼損しており、樹脂部品は閉鎖弁カバーの下部を除いて、大半が焼損、焼失していた。○制御基板は焼損が著しく、基板に欠損箇所はないものの、電気部品の一部は確認できなかった。○その他の電気部品に、出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の焼損が著しく、確認されていない部品もあることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/23)
A201101034 2011-4270 2012/02/09 （事故発生地） 三重県	電気ストーブ ユアサプライムス株式会社 YA-D822MF	建物を全焼する火災が発生し、1名が火傷を負った。 （火災）	○洗濯物を干している最中に、電気カーペットの上で通電中の当該製品が、前向きに倒れ火災になっていた。○使用者は、火災前に洗濯物を持ち、当該製品の横を数回通っていた。○当該製品は、焼損が著しく、電源スイッチ、転倒時オフスイッチ、温度ヒューズ及び内部配線のほとんどが未回収であった。○外郭金属、ガード及び反射板には、樹脂が付着していたが、繊維のようなものは付着していなかった。●当該製品は焼損が著しく、電気部品のほとんどが確認できず、事故時の使用状況も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/23)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101035 2011-4271 2012/02/12 （事故発生地） 茨城県	食器洗い乾燥機（ビルトイン式） リンナイ株式会社 RKW-V45A	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	当該製品は、制御基板のコネクター端子に腐食が認められることから、水槽上部からの水漏れにより、出火に至った可能性が考えられるが、制御基板は焼損が著しく、確認できないコネクター端子もあることから、事故原因の特定には至らなかった。	リンナイ株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成24年8月24日、ホームページへの情報掲載を行うとともに、所有者に対してダイレクトメールの送付等を行い、対象製品について無償点検・修理を実施する。	(受付:2012/02/24)
A201101045 2011-4302 2011/11/30 （事故発生地） 京都府	電気湯沸器 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） NC-EM22	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。 （火災　死亡）	○当該製品は焼損が著しく、樹脂部品はすべて溶融し、基板や内部配線などは焼失していた。○温度ヒューズや湯温度検知用サーミスターの一部は回収されておらず、確認できなかった。○ヒーターなどの他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○同等品を使用して、基板からの出火を想定した実験を行ったが、基板から周囲には延焼しなかった。●当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/27)
A201101048 2011-4179 2012/02/16 （事故発生地） 北海道	電気ストーブ（カーボンヒーター） 株式会社山善 MC-900	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	焼損状況から当該製品内部の下部にある内部配線または端子台付近から出火したものと考えられるが、端子台の端子等が欠損していることから、製品内部から出火した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/27)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101057 2011-4299 2012/02/15 （事故発生地） 福岡県	電気こんろ 日立熱器具株式会社（現 日立アプライアンス株式会社） HT-1250（組み込み先のキッチンメーカーは不明）	当該製品の上に載せていたＩＨ調理器を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れスイッチが入り、当該製品の上に置かれていたIH調理器に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/02/28)
A201101062 2011-4312 2011/07/25 （事故発生地） 長崎県	送風機 山崎産業株式会社 E-103-N	宿泊施設内で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、業務用として使用されていた。 ○当該製品は焼損が著しく、支柱がスタンドから外れて倒れていた。○モーターと支柱の間の首振り機構付近の配線４本のうち２本が断線していた。○始動コンデンサーは焼損していた。 ●当該製品の焼損が著しいことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/29)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101063 2011-4301 2012/02/19 （事故発生地） 熊本県	電気洗濯機 三洋ﾊｲｱｰﾙ株式会社（現ハイアールジャパンセールス株式会社） HSW-50S3	異音とともに停電したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のモーター用コンデンサーの製造工程において、異物が混入し、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、出火に至ったものと考えられる。	三洋ハイアール株式会社（現ハイアールジャパンセールス株式会社）は、当該製品を含む対象機種について事故の再発防止を図るため、平成２２年１１月１２日から無償点検を実施し、必要に応じて部品の無償交換を実施している（三洋ハイアール株式会社（２００７年３月解散）が輸入した電気洗濯機も含む）。	(受付:2012/02/29)
A201101068 2011-4343 2012/02/17 （事故発生地） 兵庫県	冷風機 三洋電機株式会社 SAD-123HR	異音と異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品は、樹脂部品がすべて溶融し、残存していた部品は、電装部品のない右前方の下部に向かって倒れこみ、溶融した樹脂部品の中に埋まっていた。○事故時、当該製品の電源コードは、本体背面の電源コード取り出し口から本体外郭の右前方を通っており、本体右前方付近で電源コードが断線し、断線部に溶融痕が認められたが、当該断線部は、事故現場から回収されておらず、確認できなかった。○ファンモーター用コンデンサーは、焼損が著しく、破裂した状態で、当該コンデンサーの一部は回収されておらず、確認できなかった。○基板、ヒーター、コンプレッサー用コンデンサー、内部配線等の残存していた電気部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の残存していた電気部品に出火の痕跡は認められないが、焼損が著しく、確認できない電源コードや電気部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/01)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101070 2011-4339 2012/02/22 （事故発生地） 神奈川県	電気洗濯機 日立ﾎｰﾑ･ｱﾝﾄﾞ･ﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝ㈱（現 日立アプライアンス㈱） NW-42BF	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のコントロール基板のモーターコネクター部の接触不良等により発熱し出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする	(受付:2012/03/01)
A201101080 2011-4347 2012/02/24 （事故発生地） 東京都	エアコン 日立アプライアンス株式会社 RCI-NP56K	異音とともに運転中ではなかった当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○事故時、当該製品は運転されていなかった。○端子台の接続電線が断線していたが、溶融痕は認められなかった。○電源基板及び室内基板の焼損が著しく、基板裏面のパターンが溶けており、基板上の部品はほとんど脱落していた。○送風用電動機、ドレンアップ用電動機、トランスの巻線に異常は認められなかった。●当該製品の焼損が著しく、基板裏面のパターンが溶けており、基板上の一部の部品が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/02)
A201101083 2011-4378 2012/02/21 （事故発生地） 愛媛県	電気こたつ 松下電工株式会社（現 パナソニック株式会社） MHR0350U1	建物が全焼し、1名が火傷を負う火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災）	○消防と事業者の合同当該製品からの出火の原因を特定するには至らなかった。○事故現品は、既に破棄されており、事故品を入手できなかった。○事業者の写真からは、当該製品の焼損が著しく、出火の原因となるものは確認はできなかった。●当該製品の焼損が著しいことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/05)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101085 2011-4050 2011/12/11 （事故発生地） 兵庫県	コーナータップ 新東電器株式会社 TK-53W	当該製品に電気ポットを接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○３口平形可動プラグ式の当該製品は、樹脂製外郭がほぼ焼失しており、刃受けを含む金属部分の露出が認められた。○可動プラグ部は、両極とも溶融しており、片方の栓刃に溶断が認められた。また、両極のカシメ部は、カシメ鋲やスプリングワッシャーが焼失していた。○調理台の電源プラグが差さっていた差込口の片側の刃受けは、幅が広くなっていた。○他の部位は焼損しているが、トラッキングや異常過熱の痕跡は認められなかった。●当該製品の栓刃可動部で接触不良が生じ、異常発熱により出火に至ったものと考えられるが、接触不良の原因が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/05)
A201101092 2011-4282 2012/02/26 （事故発生地） 島根県	電気湯沸器 シャープ株式会社 KP-H14E	宿泊施設で、通電中の当該製品を焼損し、周辺にあった鏡を破損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、本体背面の樹脂製の外郭が著しく焼損していたものの、内部の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品の電源コードが途中で断線し、溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。○当該製品は製造後約１９年経過しているが、電源コードの断線部付近に著しい屈曲等の異常は認められなかった。●当該製品の本体に出火の痕跡は認められず、電源コードに溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/08)
A201101099 2011-4405 2012/02/12 （事故発生地） 兵庫県	除湿機 松下エコシステムズ㈱（現パナソニックエコシステムズ㈱） F-YHB100	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、製品内部のヒーターコイルの一部がヒーターコイル保持部品から外れ、当該部品に近接する樹脂製除湿ローターカバーに接触したことで、出火に至ったものと考えられる。	松下エコシステムズ株式会社（現パナソニックエコシステムズ株式会社）及びパナソニック株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２４年５月24日、プレス公表、ホームページへの情報掲載を行うとともに、平成２４年５月２５日付けで新聞社告、平成２４年５月２５日以降から順次判明次第顧客への通知や販売店でのポスター掲示を行い、使用の中止を呼びかけるとともに製品交換を実施する。	(受付:2012/03/09)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101106 2011-4369 2012/03/01 （事故発生地） 静岡県	電気ストーブ 株式会社インターセントラル SPW-1502M	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約１６年）により、ヒーター端子部を覆っている防水用シリコンが劣化し、ひび割れが発生したため、内部配線カシメ部に腐食が生じ、接触不良による異常発熱が生じ、防水用シリコンが炭化してヒーター線との間で短絡が発生し、出火に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/12)
A201101109 2011-4430 2012/02/29 （事故発生地） 東京都	蛍光ランプ 東芝ライテック株式会社 EFA25EL/22	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の内部基板に搭載されているフィルムコンデンサーに不良品が混入していたため、当該コンデンサーの絶縁劣化による内部短絡が生じ、発煙に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/14)
A201101115 2011-4453 2012/03/02 （事故発生地） 埼玉県	電気ストーブ 松木技研株式会社 EST-A802	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の電源切替スイッチのある本体右側の焼損が著しく、電源切替スイッチから出火したものと推定され、製品に起因する事故と考えられるが、電源切替スイッチが回収されておらず確認できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/15)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101118 2011-4449 2012/02/04 （事故発生地） 愛知県	電気蓄熱式湯たんぽ 株式会社ジーワン・トレード（(株)ヒロ・コーポレーションﾌﾞﾗﾝﾄﾞ ND-13（(株)ヒロ・コーポレーションﾌﾞﾗﾝﾄﾞ）	当該製品を蓄熱中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	当該製品は内袋は柔らかく、内部に空気層があり、内蔵ヒーターが固定されていない構造のため、容易に内蔵ヒーターが動くものであった。内蔵ヒーターを中心に内袋と保温袋が焼損しており、Ｕ字形状の内蔵ヒーターの片側には、異常発熱した痕跡が認められたことから、当該製品の蓄熱時の傾きにより、内袋の内蔵ヒーターが空気層に露出し、内袋と接触し火災に至ったものと考えられる。	輸入事業者である株式会社ジーワントレード及び販売事業者であるヒロ・コーポレーション及び株式会社イトウは平成24年１月7日に新聞社告等を実施し、製品の使用方法に関する注意喚起及び製品の回収・返金を実施している。	(受付:2012/03/15)
A201101122 2011-4423 2012/03/07 （事故発生地） 鹿児島県	照明器具 ＮＥＣライティング株式会社 シーリングライト 8LV243SG	当該製品を点灯後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品に組み込まれている蛍光灯の寿命末期を検知する保護回路の動作が遅れ、蛍光灯の寿命末期に異常電流が流れたため口金部が溶融したものと考えられるが、当該保護回路に異常は認められず、保護回路の動作が遅れた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/16)
A201101129 2011-4472 2012/03/07 （事故発生地） 北海道	換気扇 ガデリウス株式会社（現ガデリウス・インダストリー株式会社） SIROC-T3/7	ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	長期使用（約13年）により、当該製品内部のモーターコイル巻線の絶縁が劣化し、レイヤーショートが生じたためモーター部が過熱し、火災に至ったものと考えられる。	ガデリウス・インダストリー株式会社では、事故の再発防止を図るため、本日、ホームページへの掲載を行うとともに、所有者に対するダイレクトメールの送付などを順次実施し、対象製品について製品改修を実施している。	(受付:2012/03/19)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101141 2011-4363 2012/02/25 （事故発生地） 愛知県	電気こたつ用コード 株式会社エスジーユー NN8450	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	○使用者が、電気こたつのかけ布団をめくると、中で火災が発生していた。○当該製品は、製造時に中間スイッチ可動部に誤ったグリスを塗布し、中間スイッチ接点で接触不良による発熱事故が多発したため、社告により無償交換を行っている製品であった。○当該製品の電源コードと器具用ソケットには、出火の痕跡は認められなかったが、中間スイッチ部と電源プラグは、未回収で確認ができなかった。○電気こたつのヒーターユニットには、出火の痕跡は認められなかったが、保護網には、焼損した繊維や畳が付着していた。●当該製品は中間スイッチから発火に至った可能性が考えられるが、中間スイッチは未回収で確認ができず、当該製品の詳細な使用状況も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/22)
A201101144 2011-4481 2012/03/01 （事故発生地） 岡山県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 株式会社セラヴィ CLV-044	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の電源コードと内部リード線との間を接続している閉端接続子のカシメ不良により、接触不良が生じて異常発熱して周辺の樹脂に接触し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/23)
A201101158 2012-0012 2012/03/11 （事故発生地） 埼玉県	液晶テレビ 株式会社東芝 22A2	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	○回収された液晶パネルの一部、シャーシフレーム、メイン基板の一部には、出火した痕跡は認められなかった。○当該製品は延長コードに介して接続されており、他の製品も接続されていた。○事故現場から、他の製品に使用されていたと推定される電源コードについて確認したが、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/27)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101162 2012-0015 2012/03/21 （事故発生地） 熊本県	除湿機 松下エコシステムズ㈱（現パナソニック エコシステムズ㈱） F-YHB100	室内で当該製品を使い洗濯物を乾燥中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、製品内部のヒーターコイルの一部がヒーターコイル保持部品から外れ、当該部品に近接する樹脂製除湿ローターカバーに接触したことで、出火に至ったものと考えられる。	松下エコシステムズ株式会社（現パナソニックエコシステムズ株式会社）及びパナソニック株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２４年５月２４日、プレス公表、ホームページへの情報掲載を行うとともに、平成２４年５月２５日付けで新聞社告、平成２４年５月２５日以降から順次判明次第顧客への通知や販売店でのポスター掲示を行い、使用の中止を呼びかけるとともに製品交換を実施する。	(受付:2012/03/28)
A201101163 2011-4468 2012/03/20 （事故発生地） 岡山県	電気洗濯機 東芝家電製造株式会社（現　東芝ホームアプライアンス株式会社） AW-GN70DC	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品の製造時に、モーターリード線等を束ねたワイヤーハーネスが、管理寸法を外れ、緩みに余裕がない状態で機体内部に取り付けられていた。このため、水槽揺れの影響によりワイヤーハーネスに想定以上の繰り返し屈曲及び張力が加わり、モーターリード線が断線してスパークが生じ、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/29)
A201101164 2012-0029 2012/03/17 （事故発生地） 静岡県	電気式浴室換気乾燥暖房機 三菱電機株式会社（㈱ＩＮＡＸブランド） UH-2A（㈱ＩＮＡＸブランド）	当該製品の衣類乾燥スイッチを入れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、施工業者が行った当該製品の電源電線と屋内配線の接続工事が適切でなかったため、電源電線と屋内配線の接続部において接触不良による異常発熱が生じ、出火に至ったものと考えられる。	製造事業者である三菱電機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、平成１８年６月３０日より社告を実施して使用者に対して使用を中止し、施工業者等へ点検を依頼するよう呼び掛けている。	(受付:2012/03/29)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101165 2012-0030 2012/03/15 （事故発生地） 東京都	食器洗い乾燥機（ビルトイン式） 株式会社ハーマン FB4503PA	異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品に内蔵された漏電遮断器、その周辺にある樹脂製ベースと水位スイッチの一部が焼損していた。それ以外の電気部品、配線等に焼損等の異常は認められなかった。○漏電遮断器のケースは外側よりも内側が焼損していた。○漏電遮断器基板の一次側端子台は焼失しているが、二次側の端子台はねじの外れ、配線被覆の破損等の異常は確認されなかった。○樹脂製ベースを取り付けたドレインパンの上にはネズミの排せつ物と思われる物が多量に確認され、ドレインパンには汚れのない新しいかみ跡が２箇所あり、穴が開いていた。○当該製品は１年前から故障のため通電された状態だが使用されておらず、内部は乾燥していた。●当該製品の内部に侵入した小動物の排せつ物等が漏電遮断器の一次側端子部にかかり、ショートが発生し出火に至ったものと推定されるが、漏電遮断器の焼損が著しいことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/29)
A201101166 2012-0031 2012/03/11 （事故発生地） 神奈川県	電気ストーブ 燦坤日本電器株式会社 ＴＫ－５３５９ＹＴ	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。 （火災　死亡）	○当該製品の外郭は全焼していた。○内部配線に出火の痕跡は認められなかった。○電源コードに出火の痕跡は認められなかった。また、同等品を用いて電源コードの長さの比較を行ったが、異常は認められなかった。○ヒーター、スイッチ及び回転駆動モーターは焼損していた。●当該製品は焼損が著しく、使用状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/30)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101168 2012-0027 2012/03/20 （事故発生地） 埼玉県	電子レンジ 小泉成器株式会社 KRD-0106	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパークが発生し、トラッキング現象（絶縁破壊による短絡）が起こり、出火に至ったと考えられる。	小泉成器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成１９年９月１２日に新聞社告を掲載し、使用の中止を呼び掛けるとともに、無償改修を実施している。また、同社では、平成２０年３月以降複数回にわたり、テレビＣＭ放送で注意喚起を行い、対象製品について無償改修を呼び掛けている。	(受付:2012/03/30)
A201200007 2012-0125 2011/12/03 （事故発生地） 千葉県	スチームアイロン 株式会社グループセブジャパン DX9300J1	当該製品を使用後、外出し、戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品の自動停止安全装置等の電気部品の一部は、焼損しており確認できなかった。○当該製品下部のかけ面内部にアルミが溶融した形跡が認められた。○当該製品の底部の残存物や温度センサーには出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は焼損が著しく、自動停止安全装置等の確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/05)
A201200009 2012-0126 2012/03/18 （事故発生地） 宮崎県	電気ストーブ 三洋電機株式会社 RX-S12A	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○事故当時、当該製品はガードを下にして転倒し燃えていた。○ガードと畳との間に畳と異なる炭化物があったが、炭化物の特定には至らなかった。○転倒ＯＦＦスイッチは焼失し作動状況は確認できなかった。○当該製品は焼損が著しく、切換スイッチつまみは焼失し、通電状態であったかは確認できなかった。●当該製品の焼損が著しく、事故当時の詳細な使用状況も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/05)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200012 2012-0127 2012/03/16 （事故発生地） 東京都	スピーカー プリンストンテクノロジー株式会社 PSP-312IPIRW	当該製品に携帯型音楽プレーヤーを接続して置いていたところ、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品及び当該製品に接続していた他社製携帯型音楽プレーヤー共に焼損していた。○当該製品に付属するＡＣアダプター電源により、当該製品の駆動及び他社製携帯型音楽プレーヤーの充電をしていたが、Ｘ線による内部確認及び出力確認を行ったところ、ＡＣアダプターに異常は認められなかった。●当該製品及び当該製品に接続していた他社製携帯型音楽プレーヤー共に焼損していたことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/05)
A201200016 2011-4518 2012/03/27 （事故発生地） 千葉県	パワーコンディショナ（太陽光発電システム用） シャープ株式会社 JH40F	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の太陽電池アレイ接続端子部のプラグとソケット間で接触不良を起こしたことにより、接触抵抗が増大・異常発熱したため、周辺樹脂を焼損し、火災に至ったものと推定される。	シャープ株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成１９年１２月６日からホームページに情報を掲載するとともに、顧客情報に基づきダイレクトメールを発送し、点検・修理の注意喚起を行っている。	(受付:2012/04/06)
A201200017 2012-0130 2012/03/23 （事故発生地） 福岡県	ウォーターサーバー アクアクララ株式会社 AC01-3	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品内部に出火の痕跡は認められなかった。○電源コードが断線しており、溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。○電源コードの焼損が著しく、電源コードの引き回し状態は確認できなかった。●当該製品の電源コードに溶融痕が認められたが一次痕か二次痕か特定できず、電源コードの引き回し状態も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/06)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200024 2011-4489 2012/03/15 （事故発生地） 千葉県	ベッド（コンセント付き） 株式会社サン・ハーベスト(株式会社ニトリブランド) KH-4013	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品の２口サービスコンセント用電源コードが、ベッド側接続部で断線・焼損しており、断線部に溶融痕が認められた。○当該製品には、複数の電気製品が未使用の状態で接続されており、これらの総消費電力はコンセントの定格電力を下回っていたが、事故以前の使用状況や製品の状態は確認できなかった。○当該製品の電源コード接続部には、捩れや引張の痕跡は認められず、断線したコードの先端は、コンセントの金具に正常に固定されていた。●当該製品の電源コードに断線・焼損が認められたが、詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/09)
A201200039 2012-0193 2012/03/19 （事故発生地） 京都府	コーヒーメーカー 象印マホービン株式会社 EC-YM60型	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の温度調整用サーモスタットの接点が溶着し、ヒーターが異常過熱したため、温度ヒューズが作動していたものと考えられるが、温度ヒューズが不良品であったことから、一時的に内部で再導通したため、出火に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/13)
A201200054 2012-0239 2012/04/08 （事故発生地） 東京都	電子レンジ 松下住設機器株式会社（現パナソニック株式会社） NE-AT70	当該製品の使用開始直後、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の内部部品（ダイオードブリッジ）に製造上のばらつきがあり、部品内部のはんだ部の劣化が進み、はんだクラックが生じたため、スパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。	松下住設機器株式会社（現パナソニック株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、平成１９年５月３１日に新聞社告を掲載し、その後、平成２１年７月に量販店の顧客情報を活用したダイレクトメールの送付と平成２３年１１月までに合計７回の新聞折り込みチラシの配布等を通じて、注意喚起を行い、対象製品について無償改修を実施している。	(受付:2012/04/19)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200059 2012-0160 2012/04/09 （事故発生地） 兵庫県	換気扇（天井用） 松下精工株式会社（現　パナソニック エコシステムズ㈱） FV-14BFB	当該製品のスイッチを入れたところ、異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。 （ 火災 ）	事故原因は、長期使用（約35年）により、当該製品のモーター内部のモーター軸の回転抵抗が増していたため、モーターが過熱状態となりモーター保持部の樹脂部品が変形し、モーターの電源リード線にストレスが加わったことで断線し、出火に至ったものと考えられる。	2008年6月からパナソニック株式会社のホームページにて「経年劣化による家電製品の事故防止の普及・啓発チラシ」で、長期使用の換気扇の注意喚起を実施している。	(受付:2012/04/20)
A201200061 2012-0242 2012/04/10 （事故発生地） 大阪府	電気こんろ 三菱電機株式会社 CR-1201A	事業所内で火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品の上に置かれていた可燃物（プラスチック製かご）を焼損する火災が発生していた。 （ 火災 ）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物（プラスチック製かご）に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/04/20)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200062 2012-0133 2012/02/25 （事故発生地） 京都府	電気冷蔵庫 株式会社日立製作所（現日立アプライアンス株式会社） R-235TD	事業所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、本体を構成する樹脂部分はすべて焼失して、底部に堆積しており、金属製の本体外郭は、背面及び内側上部の焼損が著しかった。○当該製品の背面下部（機械室内）の始動リレー、コンプレッサー、起動用電解コンデンサー等、残存していた部品に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品上部の配線類、ファンモーター、電源プラグ等が未回収であり、確認できなかった。○電源コードの断線部に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。●当該製品の残存していた部品に出火の痕跡は認められないが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/20)
A201200063 2012-0204 2012/04/10 （事故発生地） 富山県	電気式物干しシステム（室内用） パナソニック電工株式会社（現　パナソニック株式会社） ＣＷＦ２１ＬＡ	建築中の建物で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品本体は焼損が著しいが、残存する部品から出火の痕跡は認められなかった。○制御ユニット、操作スイッチ端子台等が焼失し、確認できなかった。○操作スイッチは、ＯＮ状態であった。●当該製品に出火の痕跡は認められないが、焼損が著しく確認できない部品があることから、製品に起因するか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/20)
A201200066 2012-0277 2012/03/26 （事故発生地） 東京都	ヘアドライヤー 日立マクセル株式会社 ＨＤ－Ｎ１２４０	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○電源スイッチの接点に一部溶融が認められた。○半波整流ダイオードは焼損していた。○雑音防止コンデンサー及び保護ヒューズは回収されなかった。○ヒーター部に出火した痕跡は認められなかった。○サーモスタット、温度ヒューズ、モーター、イオン用高圧トランスに異常は認められなかった。○再現試験を実施したが安全装置が作動し出火には至らなかった。●当該製品の焼損は著しいが、回収された部品に出火の痕跡は認められず、雑音防止コンデンサー及び保護ヒューズが未回収であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/23)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200069 2012-0278 2012/04/21 （事故発生地） 大阪府	電気こんろ 三化工業株式会社 SPH-231S	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○消防到着時、当該製品のスイッチつまみは「切」になっていたが、事故当時、スイッチが入っていたか否かは、確認できなかった。○当該製品の上に載っていたプラスチック製かごは、ヒーター形状に沿って、丸く焼損していた。○当該製品は、トッププレート部に焼損物が付着していたが、正常に動作した。○スイッチつまみは、操作パネルより上方に約７mm突き出ていた。●当該製品のスイッチが意図せず入ったため、当該製品の上に載っていた可燃物が焼損したものと考えられるが、スイッチが入った原因が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/23)
A201200070 2012-0275 2012/03/29 （事故発生地） 埼玉県	電気こんろ 日立熱器具株式会社（現 日立アプライアンス株式会社） HT-1250（組み込み先のキッチンメーカーは不明）	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物（布巾等）に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者において、つまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した「一口電気こんろ」の抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。また、同様のスイッチ構造を持つ、当該製品を含む「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/04/24)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200083 2012-0158 2012/04/02 （事故発生地） 佐賀県	電気洗濯乾燥機 シャープ株式会社 ES-V300	当該製品から衣類を取り出すためドアを開けたところ、内ドアが外れ、足に落下し、負傷した。 （重傷）	当該製品は、内ドアのネジの締め付けが不十分であったため、使用による振動でネジの緩みが進行して外れ、ドアを開けた際に内ドアのガラスが脱落して左足に落ちたものと推定され、製品に起因する事故と考えられるが、内ドアのネジは容易には緩まず、ネジが緩んだ原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/26)
A201200089 2012-0318 2012/03/24 （事故発生地） 香川県	オーブントースター 株式会社千石（パナソニック株式会社ブランド） NT-W30（パナソニック株式会社ブランド）	当該製品で調理後、当該製品のドアを開けたところ当該製品のガラスが割れたため、逃げようとした際、肩を負傷した。 （重傷）	○当該製品のドアガラス（強化ガラス製）は粉々に割れていた。○回収したガラス破片からは、破壊の起点となった傷等は確認できなかった。○同等品を使用して、タイマーが切れる前にドアガラスに水をかける等の実験を行ったが、ドアガラスは割れなかった。●当該製品のドアガラス表面についた傷やドアガラス内部の異物などが起点となり破壊したものと考えられるが、すべてのガラス破片を回収できず、破壊の起点となった傷等が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/27)
A201200090 2012-0319 2012/03/30 （事故発生地） 東京都	延長コード 株式会社ヤザワコーポレーション コード付タップ３個口５ｍ・SHL1553WH	事業所で当該製品に炊飯器を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品の電源プラグカシメ部の片側が溶融していた。○コンセント側の受け刃部の片側のみ焼損していた。○同等品のプラグカシメ部に異常は認められなかった。●当該製品の電源プラグ刃のカシメ不良、または、電源プラグがコンセントに正常に接続されていなかったため、片側のプラグが発熱し出火に至ったものと推定されるが、当該カシメ部が溶融していたことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/01)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200092 2012-0308 2012/04/17 （事故発生地） 東京都	電気こんろ 松下電器産業株式会社（現　パナソニック株式会社） HK-1102（㈱日立ハウステック(現（株）ハウステック)製キッチンKM-903Sに組込	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物（紙類等）に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者において、つまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した「一口電気こんろ」の抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。また、同様のスイッチ構造を持つ、当該製品を含む「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/05/01)
A201200093 2012-0320 2011/03/21 （事故発生地） 兵庫県	テレビ（ビデオ一体型）（ブラウン管型） 松下寿電子工業株式会社（現　パナソニックヘルスケア株式会社） TH-14JV1	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品の電源プラグはコンセントに接続されていたが、事故当時は使用されていなかった。○バックキャビネットの後方上部が著しく焼損していたが、電源コードに断線や溶融痕は認められなかった。○電源スイッチ「切」の待機状態で、基板に電源が供給されている電源回路部の焼損状況が確認できなかった。●当該製品は、事故当時、コンセントに接続されていたが、使用されていなかったものと推定されるが、電源スイッチ「切」の待機状態でＡＣ電源が供給される電源回路部の基板の焼損状況が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/01)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200094 2012-0321 2012/04/24 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） NR-B22R2	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品の外郭は、前面より背面側の焼損が著しく、背面下部のコンプレッサー周囲が大きく焼損していた。○コンプレッサー周囲のリード線は、断線していたが溶融痕は認められなかった。○始動リレーのリレーカバーは焼損していたが、始動リレーには異常は認められなかった。○ヒーター、ドアスイッチ、サーモスタット、ファンモーター、コイルスプリング、霜取タイマーの接点板やモーター、運転コンデンサーには異常は認められなかった。○当該製品の電源コード及び電源プラグは焼失しており確認できなかった。○当該製品は延長コードを介し使用していたが、延長コードは焼損が著しくテーブルタップ部の樹脂が焼失していた。●当該製品の電気部品には出火した痕跡は認められなかったが、電源コード、電源プラグ部及び電源プラグを接続していた延長コードが焼損しており確認できなかったため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/01)
A201200096 2012-0152 2011/07/24 （事故発生地） 北海道	電気冷凍庫 日本ゼネラル・アプライアンス株式会社 不明(FCS102又はFNS105と推定)	事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は焼損が著しく、金属部品のみしか残存していなかった。○当該製品の主要な電気部品等は、未回収により確認できなかった。●当該製品は焼損が著しく、主要な電気部品がほとんど未回収により確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/02)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200108 2012-0363 2012/03/26 （事故発生地） 神奈川県	パネルヒーター クレオ工業株式会社 NN8920	当該製品を事務机に取付けて使用中、落下し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は事故当日に使用者により廃棄されており、消防、事業者、ＮＩＴＥも当該製品の状態を確認できなかった。●当該製品が廃棄されていたことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/07)
A201200114 2012-0380 2012/04/15 （事故発生地） 三重県	電気掃除機 東芝ホームアプライアンス株式会社 VC-Y2C	当該製品を使用中、発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	モーターから出た高温物質片（高温のカーボン片）が、本体内部の排気フィルター（誤って非難燃性材料を使用）に付着したため、発煙に至り、製品を焼損し、周辺を汚損したものと考えられる。	東芝ホームアプライアンス株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年１１月２７日、プレスリリース及びホームページへ情報掲載を行うとともに、平成２４年１１月２８日付けで新聞社告、販売店を通じた所有者に対するダイレクトメールの送付などを実施し、平成２４年１１月２８日より対象製品について無償交換を実施する。	(受付:2012/05/10)
A201200121 2012-0387 2012/05/01 （事故発生地） 北海道	ディスプレイモニター ＬＧＥｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓ Ｊａｐａｎ株式会社 IPS235G-BN	使用者が外出中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は全体に焼損しており、樹脂部品はすべて焼失していた。○内部基板は焼損していたが、基板の欠損はなく、また、基板上の部品が一部脱落していたが、出火の痕跡は認められなかった。○電源コードの断線部に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。●当該製品内部に出火の痕跡は認められないが、電源コードの溶融痕が一次痕か二次痕か特定できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/11)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200123 2012-0388 2012/05/01 （事故発生地） 北海道	スピーカー 恵安株式会社 N4-20U05-BK	使用者が外出中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、右側スピーカーの焼損が著しく、樹脂部品はすべて焼失していた。○右側スピーカーの一部の基板が回収されておらず、確認できなかった。○右側スピーカーに残存していた基板等の電気部品に、出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の残存していた部品に出火の痕跡は認められないが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/11)
A201200124 2012-0299 2012/04/19 （事故発生地） 山口県	電子レンジ 株式会社クリスタル電器 BE-50B5（富士通ゼネラルブランド）	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品のドアスイッチの接点部で接触不良が生じ、異常発熱により出火に至ったものと推定され、製品に起因する事故と考えられるが、異常発熱が生じた原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/11)
A201200130 2012-0410 2012/05/06 （事故発生地） 埼玉県	空気清浄機 ダイキン工業株式会社 MCZ65J-W	当該製品を使用中、異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の除湿エレメントに付着した空気中の異物が除湿用のヒーターで過熱されて発熱し、その熱の影響で加湿エレメントから出火に至ったものと推定される。	ダイキン工業株式会社では、事故の再発防止を図るため、当該製品を含む対象機種について、平成２４年２月３日にプレスリリースを行い、同年２月４日に新聞及び同社ホームページに情報を掲載し、無償で製品交換を実施している。	(受付:2012/05/15)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200131 2012-0411 2012/05/12 （事故発生地） 福岡県	空気清浄機 株式会社オーム電機 AP-510H	当該製品を使用中、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、電流ヒューズの定格容量が設計上容量が大きすぎたことから、当該製品の電源回路の電子部品が内部短絡した際に、電流ヒューズが作動せず、過電流が流れ続けたため異常発熱し、焼損したものと考えられる。	株式会社オーム電機は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年２月１日にホームページへ情報掲載するとともに、ダイレクトメールの送付及び店頭告知を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償改修を実施している。	(受付:2012/05/15)
A201200132 2012-0412 2012/05/06 （事故発生地） 神奈川県	デスクトップパソコン 株式会社KOUZIRO R/KZGB8104	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、当該製品に搭載したビデオカード（電子基盤）の部品が不良品であったため、その部品と周囲の回路部分に過電流が流れ、発熱し、発煙、出火に至ったものと考えられる。	株式会社ＫＯＵＺＩＲＯは、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２２年１月７日にプレスリリース及びダイレクトメールによる通知を行い、使用者に対し注意喚起を行うとともに、対象製品について、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2012/05/16)
A201200133 2012-0413 2012/04/30 （事故発生地） 和歌山県	温水洗浄便座 アイシン精機株式会社（株式会社INAXブランド） CW-531（株式会社INAXブランド）	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、製造から長期間経過したことにより、便座電気コードが断線、発熱し、出火に至ったものと考えられる。	アイシン精機株式会社は、当該製品を含む対象機種について、同社が直接販売した製品については、平成２０年１１月２６日にプレスリリースを行い、平成２０年１２月３日に新聞広告を掲載し、使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。また、販売事業者である株式会社ＩＮＡＸ（現株式会社ＬＩＸＩＬ）においては、平成２０年１１月２６日にプレス公表を行い、平成２０年１１月２７日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。なお、不具合確認作業にて不具合が確認された場合は、事故防止のため温水洗浄便座としての使用を止めるようお願いしている。	(受付:2012/05/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200134 2012-0417 2012/04/23 （事故発生地） 岡山県	照明器具（灯篭） 株式会社太閤産業 ワンタッチ蓮華No.3 ･(3灯付)	当該製品を使用中、火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品は、左側面の焼損が著しく、樹脂製の台座の一部が焼失していた。○当該製品の電源コードは、本体台座より少し離れた位置で断線しており、断線部に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。○当該製品の配線途中にあるカシメ部及び当該製品の先端にある3個の電球に、焼損等の異常は認められなかった。●当該製品の配線途中のカシメ部や電球に出火の痕跡は認められないが、電源コードの溶融痕が一次痕か二次痕か特定できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/16)
A201200140 2012-0230 2012/03/08 （事故発生地） 福井県	電気足温器 メトロ電気工業株式会社 ＭＦＨ－１８０ＥＴ	建物が全焼し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	○当該製品は、焼損が著しく、接続されていたコンセントを含めて電源プラグから手元コントローラーまでの電源コード及び部品が未回収のため確認できなかった。○当該製品の本体及び電源コードの残存部からは、出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品もあることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/17)
A201200142 2012-0342 2012/02/28 （事故発生地） 茨城県	電気スタンド 株式会社ヤザワコーポレーション SD47CYE	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○電源コード、差し刃等に溶融痕等の異常は確認されなかった。○電源コードの中間にあるスイッチは焼損が激しく、通電状態は確認できなかった。○本体のナツメ球取付け部の焼損状態は確認できなかった。●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/18)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200147 2012-0463 2012/05/10 （事故発生地） 神奈川県	電子レンジ 松下住設機器株式会社（現パナソニック株式会社） NE-P500	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の内部部品（ダイオードブリッジ）に製造上のばらつきがあり、部品内部のはんだ部の劣化が進み、はんだクラックが生じたため、スパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。	松下住設機器株式会社（現パナソニック株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、平成１９年５月３１日に新聞社告を掲載し、その後、平成２１年７月に量販店の顧客情報を活用したダイレクトメールの送付と平成２４年５月までに合計８回の新聞折り込みチラシの配布等を通じて、注意喚起を行い、対象製品について無償改修を実施している。	(受付:2012/05/21)
A201200166 2012-0528 2012/05/18 （事故発生地） 鹿児島県	エアコン 日立アプライアンス株式会社 ＲＡＳ－ＡＣ２５Ｚ	異音とともに当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○事故発生の６か月前、使用者は当該製品の電源プラグが差し込まれていたコンセントが黒くなっていたため、コンセントを交換していた。○当該製品の電源プラグ内部の焼損が著しく、両栓刃カシメ部付近を中心に焼損していた。○電源プラグ内部の電線カシメ部は、カシメ加工に加えてはんだ盛り処理が施されているなど接触不良が起きにくい状況であった。○電源プラグ部以外に異常は認めなかった。●当該製品の電源プラグ内部で異常が発生して、プラグ内部のカシメ部付近を中心に短絡が生じて出火したものと推定されるが、差し込まれていたコンセントが交換されており、電源プラグ内部の焼損も著しいことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/29)
A201200173 2012-0548 2012/05/21 （事故発生地） 東京都	電気がま パナソニック株式会社 SR-CJ05P	当該製品をコンセントに接続したところ、異音とともに当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品の本体側の器具ソケットの片側の電極ピンの先端が溶融している。○電源コード側の器具用プラグの導電板は、片側の先端が一部消失している。○当該製品本体に、同等品の電源コードを接続すると正常に操作でき、電源コードをテスターで確認したが異常は認められない。○取扱説明書には、「器具用プラグ（磁石式）の先端にピン等の金属片やゴミを付着させない」旨、注意表記されている。●当該製品の器具用マグネットプラグの接触不良、または器具用マグネットプラグの先端に何らかの異物が入り込んだため、導電板と電極ピン間で発熱し、スパークに至ったものと推定されるが、使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/31)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200178 2012-0468 2012/05/23 （事故発生地） 大阪府	電気冷蔵庫 東京芝浦電気（株）（現東芝ホームアプライアンス株式会社） GR-2008T	住人が不在の間に当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品の長期使用（約34年）により、始動リレー（起動用電気部品）の接点が接触不良を起こし、異常発熱して出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/01)
A201200182 2012-0562 2012/02/03 （事故発生地） 兵庫県	電気蓄熱式湯たんぽ 株式会社ジーワン・トレード ＦＲ－１５	当該製品を蓄熱中、当該製品から漏水し、火傷を負った。 （重傷）	当該製品の内袋に空気層が生じることが認められ、内蔵ヒーターが容器に固定されていない構造であった。また、空気層にヒーターが露出すると、急激な温度上昇が認められたことから、事故の原因は、内蔵ヒーターが蓄熱方法によっては内袋と接触する構造であったため、空気槽に露出して高温となった内袋の内蔵ヒーターが内袋外周の融着部に触れ強度が低下するとともに、内部圧力の上昇によって内袋の融着部が破れて内容物が漏水し事故に至ったものと考えられる。事業者は平成２４年１月７日に新聞社告等を実施し、製品の使用方法に関する注意喚起及び製品の回収・返金を実施している。	輸入事業者である株式会社ジーワントレード及び販売事業者であるヒロ・コーポレーション及び株式会社イトウは平成２４年１月７日に新聞社告等を実施し、製品の使用方法に関する注意喚起及び製品の回収・返金を実施している。	(受付:2012/06/04)
A201200184 2012-0560 2012/05/23 （事故発生地） 東京都	デスクヒーター 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） DC-2456P	当該製品のスイッチを入れたまま外出して戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しており、1名が負傷した。 （火災）	事故原因は、当該製品内のヒーター線が遊離し、ねじれ等により断線、スパークが生じ、ヒーター線周辺が異常過熱を起こし出火至ったものと考えられる。	松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、平成２０年３月５日にプレスリリースを行うとともにホームページへの情報掲載、新聞社告を実施し、その後、平成２２年１１月までに合計３回の新聞折り込みチラシの配布等を通じて、注意喚起を行い、対象製品について無償交換を実施している。	(受付:2012/06/05)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200189 2012-0579 2012/05/27 （事故発生地） 東京都	空気圧縮機 トキコ株式会社（現　株式会社日立産機システム） PA1800V	倉庫内にあった当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の制御ユニット内部の部品（コンデンサー）不良によりヒューズに過電流が流れた際にヒューズが樹脂で覆われていたことから溶断後アーク放電が長く継続し、制御ユニット周辺の樹脂が高温となり、火災に至ったものと考えられる。	トキコ株式会社（現株式会社日立産機システム）は、当該製品について、事故の再発防止を図るため、平成１９年１０月１日にホームページに情報を掲載し、無償点検及び基板の交換を実施しており、平成24年6月29日に新聞による再社告を行った。	(受付:2012/06/07)
A201200202 2012-0617 2012/05/26 （事故発生地） 愛知県	接続ユニット（太陽光発電システム用） 日東工業株式会社 NTB-10	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のケース上部の通気孔から雨水が製品内部に侵入し、内部基板に雨水が付着したことで接続端子部分で短絡が生じて、発火に至ったものと考えられる。	日東工業株式会社は、平成１８年８月２５日から同社ホームページにて呼びかけを行うとともに、無償点検・修理を実施している。	(受付:2012/06/14)
A201200204 2012-0615 2012/05/20 （事故発生地） 東京都	デスクトップパソコン デル株式会社 Dimension2400c	当該製品の電源を入れ、使用する際、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、電源供給ユニットに取り付けられたコネクターのはんだ付け工程でばらつきが生じ、はんだ付けが不十分な部分で電気抵抗が大きくなり、発熱・出火に至ったものと考えられる。	デル株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２０年９月３０日にプレスリリースを行うとともにホームページに情報を掲載し、当該製品の電源供給ユニットによる上記の不具合が生じた場合、無償での部品交換を実施している。	(受付:2012/06/14)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200208 2012-0620 2012/06/07 （事故発生地） 静岡県	空気清浄機 ダイキン工業株式会社 ＭＣＺ６５Ｋ－Ｗ	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	○焼損が著しい１階リビングでは、当該製品とガスファンヒーターが使用されていた。○当該製品はリコール対象製品の未対策品であった。○当該製品は焼損が著しく、電源ユニット、除湿エレメント、ヒーターユニットは未回収のため確認できなかった。○残存するモーター、制御基板、表示基板、配線、スイッチ等の部品には出火の痕跡は認められなかった。○ガスファンヒーター及び周辺の焼損も著しかったが、ガスファンヒーターは未回収で確認できなかった。●当該製品は焼損が著しく、残存する部品に出火の痕跡は認められなかったが、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/15)
A201200217 2012-0654 2012/06/10 （事故発生地） 北海道	水槽用ウォータークーラー ファイブプラン株式会社 ＧＸＣ－４０１Ｘ	店舗の厨房水槽で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、全体的に焼損が著しく、樹脂部品はすべて溶融していた。○電源基板は、一次側端子部が著しく焼損して欠落しており、接続していた内部配線に溶融痕が認められた。○電源基板は、本体前パネルの内面に設置されており、パネル下部に放熱用のスリットがあった。○他の電気部品や配線は、著しく焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。○当該製品は、店舗厨房の金属製台上に設置したいけす用クーラーとして台の下段にろ過槽と並置していた。●当該製品の電源基板の焼損が著しく、一次側端子部が欠落しており、内部配線に溶融痕が認められたことから、当該箇所からの出火と推定されるが、端子部が欠落して確認できないため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/20)
A201200221 2012-0675 2012/06/09 （事故発生地） 和歌山県	電気洗濯機 ハイアールジャパンセールス株式会社 JW-W55C	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のコンデンサーに部品不良があったため、コンデンサーが異常発熱して内圧が上昇し、保安機構が作動して通電が遮断されたものの、発熱による内圧上昇が継続し、上蓋とケースのカシメ部が外れ、コンデンサー内部の溶融物が噴出したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/22)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200230 2012-0693 2012/06/17 （事故発生地） 三重県	電気冷蔵庫 LG電子ジャパン（株）（現LG Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓ Ｊａｐａｎ LR-A17PS	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、コンデンサの製造不良により、コンデンサー内部の酸化が進行し、規定以上の電気抵抗が生じ、これに伴い発熱、出火したものと考えられる。	ＬＧ電子ジャパン株式会社（現LG Electronics Japan株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２０年１２月１６日にプレスリリース及びホームページでの告知を行うとともに、同月１７日に新聞社告を掲載し、対象製品について無償での部品交換を実施している。	(受付:2012/06/26)
A201200235 2012-0694 2012/06/16 （事故発生地） 東京都	電気こんろ 三菱電機株式会社 CR-1201A	事務所で当該製品の周辺に置かれていた可燃物（書類等）を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の周辺に置かれていた可燃物（書類等）に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者において、つまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した「一口電気こんろ」の抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。また、同様のスイッチ構造を持つ、当該製品を含む「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/06/27)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200237 2012-0720 2012/06/18 （事故発生地） 千葉県	電気洗濯機 ハイアールジャパンセールス株式会社 JW-Z45A	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のモーター用コンデンサーの製造工程において異物が混入していたため、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、出火に至ったものと考えられる。	ハイアールジャパンセールス株式会社では、事故の再発防止を図るため、当該製品を含む対象機種について、平成２２年１１月１２日から無償点検を実施し、必要に応じて部品の無償交換を実施している（三洋ハイアール株式会社（２００７年３月解散）が輸入した電気洗濯機も含む）。	(受付:2012/06/28)
A201200243 2011-4277 2011/12/13 （事故発生地） 兵庫県	食器乾燥機 日立アプライアンス株式会社 ＫＤ－６Ｆ又はＫＤ－５ＦＡ（推定）	建物が全焼し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	○当該製品は焼損が著しく、原形を留めていなかった。○当該製品のヒーターリード線及び電源コードが断線し、断線部に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。○スイッチ部品は回収されておらず、確認できなかった。○ファンモーターに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/02)
A201200244 2012-0783 2012/03/21 （事故発生地） 静岡県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 燦坤日本電器株式会社 UHC-3T	当該製品を使用中、当該製品から出火し、当該製品を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。 （火災）	事故原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	輸入事業者である燦坤日本電器株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２３年２月１０日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象商品について無償交換を実施している。	(受付:2012/07/02)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200245 2012-0784 2012/06/21 （事故発生地） 東京都	電子レンジ 株式会社千石（岩谷産業株式会社ブランド） IM-575（岩谷産業株式会社ブランド）	事務所で当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。	販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成１５年９月２日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビＣＭ放送で、注意喚起を行い、対象製品について、無償改修（スイッチ部の交換）を実施している。また、平成２２年以降数回にわたり、テレビＣＭ放送で使用者に対して注意喚起し、速やかに連絡を頂くよう呼び掛けている。	(受付:2012/07/02)
A201200250 2012-0786 2012/06/21 （事故発生地） 宮城県	充電器（電気シェーバー用） 株式会社泉精器製作所（セイコーエスヤード株式会社ブランド） RC01（セイコーエスヤード株式会社ブランド）	異音に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品内部の発振トランスの巻線で絶縁不良をおこし、短絡して過電流が流れることにより過熱し、出火に至ったものと考えられる。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の発振トランスの巻線で絶縁不良をおこし、短絡して過電流が流れることにより過熱し、出火に至ったものと考えられる。	株式会社泉精器製作所では、事故の再発防止を図るため、平成１２年６月６日に新聞社告を行い回収(製品の無償交換)を開始し、以降数次にわたり、社告周知を行っている。	(受付:2012/07/04)
A201200251 2012-0818 2012/06/14 （事故発生地） 沖縄県	換気扇（天井用） 松下精工株式会社（現　パナソニックエコシステムズ株式会社） FY-27B	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約３０年）により、モーター軸受部の油が枯渇してモーターがロック状態となったため異常発熱し、巻線及び内部配線が短絡して、火災に至ったものと考えられる。	松下精工株式会社（現　パナソニックエコシステムズ株式会社）では、昭和61年9月25日から社告等にて、当該製品のモーター部の不具合により落下するおそれがあるためリコールを実施している。	(受付:2012/07/05)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200256 2012-0690 2012/06/21 （事故発生地） 群馬県	電気洗濯機 ハイアールジャパンセールス株式会社 HSW-50S1	当該製品を使用中、異臭とともに当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のモーター用コンデンサーの製造工程において異物が混入していたため、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、出火に至ったものと考えられる。	ハイアールジャパンセールス株式会社では、事故の再発防止を図るため、当該製品を含む対象機種について、平成２２年１１月１２日から無償点検を実施し、必要に応じて部品の無償交換を実施している（三洋ハイアール株式会社（２００７年３月解散）が輸入した電気洗濯機も含む）。	(受付:2012/07/06)
A201200262 2012-0821 2012/06/15 （事故発生地） 千葉県	電気こんろ 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） NK-1102(松下電器産業(現ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ)製ﾐﾆｷｯﾁﾝKE120-EC	当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者において、つまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した「一口電気こんろ」の抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。また、同様のスイッチ構造を持つ、当該製品を含む「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/07/06)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200265 2012-0878 2012/06/28 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-WA35C	異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のＰＴＣ素子が、品質ばらつき等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損、周囲の樹脂部品に着火したため、出火に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年４月１７日プレス公表を行うとともに、平成24年4月17日付けで新聞社告を行い、引き続きホームページに情報を掲載して対象製品について無償点検・部品交換を実施する。	(受付:2012/07/09)
A201200269 2012-0855 2012/06/21 （事故発生地） 三重県	エアコン（室外機） 株式会社富士通ゼネラル AOE403K	異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の電装基板の電解コンデンサーにはんだ付け不良があったため、はんだ割れによる異常発熱により、周囲の基板が炭化して銅箔パターン間で短絡が生じ、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/11)
A201200279 2012-0915 2012/06/00 （事故発生地） 埼玉県	コンセント 松下電工株式会社（現　パナソニック株式会社） WF1112	当該製品に複数の電気製品を接続して使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品の2口ある上段の差込口付近が焼損している。○当該製品内部の刃受け間の焼損が著しい。○当該製品には延長コードが接続されていたが、使用状況は不明である。○当該製品は40年使用している。●当該製品内部の受け刃間のトラッキング現象によって発煙、発火したものと推定されるが、詳細な使用状況等が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/17)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200281 2012-0917 2012/07/04 （事故発生地） 千葉県	電子レンジ シャープ株式会社 ＲＥ－ＴＤ３－Ｌ５	当該製品を使用し、外出して戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品の庫内はすすけ、外郭は右側面上方中央部から天面右角部の範囲が著しく焼損していた。○当該製品の庫内は、右側から上側に焼損が認められる。また、ガラス製回転テーブルが割れ、その周囲に焼損物が認められた。○電気室内では、電気配線の被覆の一部、ファンの樹脂製羽根及び制御基板の８割強が焼失していた。○フィルター基板、コンデンサー、高圧トランス及びマグネトロンは部分的に焼損しているが、出火の痕跡は認められなかった。○最大加熱設定時間（15分）で食パン過加熱試験を実施したが、庫内から外部への延焼は認められなかった。●当該製品の電気室内の電気部品が一部焼失しており確認できず、また、詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/17)
A201200284 2012-0930 2012/07/12 （事故発生地） 兵庫県	食器洗い乾燥機（ビルトイン式） 株式会社ハーマン FB4503PC	当該製品を使用中、当該製品から出火し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、2002年4月から2007年4月に行われた当該機器の電装基板交換時に、適切に電線を接続しなかったため、電線の接触不良によって高温となり、火災に至ったと考えられる。	株式会社ハーマンは、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、2002年4月から2007年4月に電装基板の交換を行った全ての機種について、平成24年9月27日から無償点検・改修を実施している。	(受付:2012/07/19)
A201200289 2012-0931 2012/07/13 （事故発生地） 東京都	エアコン 東芝キヤリア株式会社 RAS-406LDR	当該製品を使用中、異音と発煙に気付き確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のファンモーターのリード線接続部分が露出しているために、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。	東芝キヤリア(株)は、事故の再発防止を図るため、平成１６年８月２０日より新聞社告を掲載するとともに、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）等の注意喚起を行い、さらに、平成２４年度においても、全国自治体等の広報誌への掲載を行い、対象製品の無償改修を呼び掛けている。	(受付:2012/07/20)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200290 2012-0937 2012/06/30 （事故発生地） 静岡県	ミシン ブラザー工業株式会社 ZZ3-B586	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、モーターや基板が組み込まれている本体右下の焼損が著しかった。○本体右下に取り付けられていたスイッチ接点に溶着が認められたが、スイッチ直上を覆っている取付金具に著しい焼け跡は認められなかった。○基板は焼損が著しく、1次側に出火の痕跡は認められなかったが、2次側は未回収で確認できなかった。○電源コード、モーター、内部配線等に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の残存部品に出火の痕跡は認められなかったが、未回収により確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/20)
A201200298 2012-0956 2012/07/14 （事故発生地） 大阪府	エアコン 東芝キヤリア株式会社 RAS-406LDR	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のファンモーターのリード線接続部分が露出しているために、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。	東芝キヤリア(株)は、事故の再発防止を図るため、平成１６年８月２０日より新聞社告を掲載するとともに、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）等の注意喚起を行い、さらに、平成２４年度においても、全国自治体等の広報誌への掲載を行い、対象製品の無償改修を呼び掛けている。	(受付:2012/07/23)
A201200299 2012-0964 2012/06/15 （事故発生地） 東京都	電子レンジ 株式会社クリスタル電器 Electrolux by TOSHIBA　EMCM10	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○導波管カバー裏側に、焼損した痕が見られ、一部穴が開いていた。○マグネトロンはアンテナキャップの一部に穴が開いていたが、それ以外のところに異常は認められなかった。○導波管カバー以外に庫内に焼損した痕跡は認められなかった。○導波管カバーの裏側の残留物の元素分析を行ったが、主に炭素が検出された。●当該製品の庫内の導波管カバー裏側に煮汁などの食品が浸入したため、付着した食品カスなどに電波が集中し、炭化・スパークが生じ出火したと推定されるが、既に残留物が焼損していることから付着物が特定できず、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/23)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200302 2012-0957 2012/07/09 （事故発生地） 長野県	電気冷蔵庫 株式会社富士通ゼネラル ER-F43MB-G	ブレーカーが作動し停電していたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の庫内で食品汁等が電装部へ流れ込み、コネクター部でトラッキングが生じ、発煙したものと考えられる。	株式会社富士通ゼネラルでは、平成１７年９月２日、平成１８年６月２日及び平成１８年１１月７日に新聞社告を掲載、現在も織り込みチラシ等にて注意喚起を継続して行い、対象製品について改修を実施している。	(受付:2012/07/24)
A201200303 2012-0958 2012/07/13 （事故発生地） 大阪府	電気衣類乾燥機 三洋電機株式会社 CD-EC551	高齢者施設で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部のメインリレーの固定端子部において異常発熱が生じて出火に至ったものと推定され、製品に起因する事故と考えられるが、異常発熱の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/24)
A201200304 2012-0959 2012/07/15 （事故発生地） 愛知県	電気冷蔵庫 LG電子ジャパン(株)（現LG Electronics Japan(株)） LR-A17PS	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、コンデンサーの製造不良により、コンデンサー内部の酸化が進行し、規定以上の電気抵抗が生じ、これに伴い発熱、出火したものと考えられる。	ＬＧ電子ジャパン株式会社（現LG Electronics Japan株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２０年１２月１６日にプレスリリース及びホームページでの告知を行うとともに、同月１７日に新聞社告を掲載し、無償での部品交換を実施している。	(受付:2012/07/24)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200310 2012-0994 2012/07/05 （事故発生地） 東京都	蛍光ランプ 株式会社オーム電機 EFA12EL	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品の点灯回路基板内のＰＴＣ素子が故障し、異常発熱したため焼損に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/26)
A201200311 2012-0995 2012/07/19 （事故発生地） 埼玉県	照明器具 株式会社ＬＤＦ(東芝ライテック株式会社ブランド) FPH-7999SRZKFG(東芝ライテック株式会社ブランド)	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	当該製品に組み込まれている蛍光灯の寿命末期を検知する保護回路の動作が遅れ、蛍光灯の寿命末期に異常電流が流れたため口金部が溶融したものと考えられるが、保護回路の動作が遅れた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/26)
A201200312 2012-0854 2012/06/28 （事故発生地） 北海道	電気蒸留水器 前田　利夫 なし	集合住宅の一室を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	○当該製品は、全体的に焼損が著しく、樹脂製部品は焼失し、スイッチなどの電気部品は未回収で確認できなかった。○当該製品のサーモスタットやファンモーターには、溶融痕などの異常は認められなかった。○同等品で動作試験を行ったが、異常発熱などの異常は認められなかった。●当該製品の残存していた部品に出火の痕跡は認められないが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/26)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200323 2012-1033 2012/07/20 （事故発生地） 北海道	スピーカー 株式会社ディーアンドエムホールディングス SP-70	カラオケ店舗内の個室で、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、右側スピーカーが焼損し、グリルネット、ウーファーのダンパー、コーン紙、ボイスコイルが焼損していた。また、エッジに亀裂が認められた。○事故発生時のカラオケシステムの音量は、音が歪むほどの音量レベルで使用されており、当該製品には当該製品の最大許容入力（１５０Ｗ）を超える過大入力が加えられていた。○再現実験の結果、スピーカーのエッジ及びダンパーに切り込みを入れた状態で過大入力を加えた場合、ダンパーが燃焼した。●当該製品のエッジ及びダンパーが破損している状態で、当該製品に当該製品の最大許容入力を超える過大入力が加わったことにより、ボイスコイルが異常発熱し、周囲の可燃物（ダンパー）に接触したために出火に至ったものと考えられるが、焼損が著しく、ダンパーなどの可燃物は焼失しており、また、エッジの亀裂が生じた原因も特定できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/08/02)
A201200324 2012-1032 2012/07/22 （事故発生地） 山口県	プロジェクター 三洋電機株式会社 LP-Z3	当該製品の電源コードから出火する火災が発生し、当該製品を焼損、周辺を汚損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の電源コードのコネクター内部の樹脂材料に含まれる難燃剤が加工不十分なため、その成分が温度・湿度等の影響によって空気中の水分と反応して導電性物質が生成され、コネクター内部の端子間において絶縁が劣化して樹脂が炭化することで、発火に至ったものと考えられる。	三洋電機株式会社及び松下電器産業株式会社（現　パナソニック株式会社）では、事故の再発防止を図るため、平成２４年１０月１７日にプレスリリース、同社ホームページへの情報掲載及び販売店での店頭告知、同年１０月１８日に新聞社告及びダイレクトメールを行い、無償で部品交換を実施している。	(受付:2012/08/03)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200331 2012-1068 2012/07/24 （事故発生地） 兵庫県	携帯型音楽プレーヤー (有)ｱｯﾌﾟﾙｼﾞｬﾊﾟﾝﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ(現AppleJapan iPod nano MA005J/A	当該製品を他社製の充電器に接続して充電中、当該製品から発煙し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられる。	事業者は、平成23年11月12日から対象機種を有するユーザー全てに対して製品交換を実施している。ホームページを通じて注意と製品交換を呼びかけるとともに、登録ユーザーに対して電子メールを送付して、当該製品に対する注意喚起と製品交換に関する連絡を行っている。	(受付:2012/08/06)
A201200332 2012-1074 2012/08/03 （事故発生地） 神奈川県	電気冷蔵庫 株式会社富士通ゼネラル ER-27ST-W	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の霜取りタイマーの周辺の焼損が著しいことから、霜取りタイマー付近から出火したと考えられるが、焼損が著しいため、出火が霜取りタイマーの端子部の異常によるものか、その部品の絶縁破壊によるものか特定できず、原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/08/07)
A201200333 2012-1075 2011/09/17 （事故発生地） 京都府	電子レンジ 松下住設機器株式会社（現パナソニック株式会社） NE-8700	当該製品を使用中、感電し、負傷した。 （重傷）	○使用者は当該製品を使用中、左手で当該製品の上部手前側面を支え、右手でドアに触った瞬間に感電した。○当該製品のアースは設置されていなかった。○当該製品は、事故翌日に廃棄されていた。●当該製品は廃棄されていて確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/08/07)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200338 2012-1069 2012/08/01 （事故発生地） 神奈川県	空気清浄機 ダイキン工業株式会社 MC709-W	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の電気集塵部の放電線が、集塵フィルタに接触している状態が続き、導電性物質が集塵フィルタに付着した際に、集塵フィルタと脱臭フィルタの間で放電が発生し、発煙・出火に至ったと考えられる。	ダイキン工業株式会社では、事故の再発防止を図るため、当該製品を含む対象機種について、平成２２年４月９日にプレスリリースを行い、平成２２年４月１０日から無償で点検・修理を実施している。	(受付:2012/08/08)
A201200340 2012-1070 2012/08/02 （事故発生地） 東京都	テレビ（ブラウン管型） シャープ株式会社 25C-DJ1	当該製品で視聴中、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のフライバックトランス外装ケースに微少の傷やひび等が生じていたため、フライバックトランス内部の充填剤が吸湿、絶縁劣化を起こし、フライバックトランスとフェライトコア間で放電が生じ、発煙したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/08/08)
A201200353 2012-1096 2012/07/18 （事故発生地） 東京都	電気洗濯機 ハイアールジャパンセールス株式会社 JW-Z50C	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の給水弁用トライアックの端子部分で異常発熱して溶融したため、部品を実装している基板が焼損したものであり、製品に起因する事故と考えられるが、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/08/10)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200358 2012-1040 2012/08/01 （事故発生地） 大阪府	携帯型音楽プレーヤー (有)ｱｯﾌﾟﾙｼﾞｬﾊﾟﾝﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ（現AppleJapan iPod nano MA005J/A	当該製品を充電中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられる。	事業者は、平成23年11月12日から対象機種を有するユーザー全てに対して製品交換を実施している。ホームページを通じて注意と製品交換を呼びかけるとともに、登録ユーザーに対して電子メールを送付して、当該製品に対する注意喚起と製品交換に関する連絡を行っている。	(受付:2012/08/13)
A201200362 2012-1134 2012/08/01 （事故発生地） 愛媛県	電気冷蔵庫 LG電子ジャパン㈱（現　LG Electronics Japan㈱） LR-A17PS	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損、周辺を汚損した。 （火災）	事故原因は、コンデンサーの製造不良により、コンデンサー内部の酸化が進行し、規定以上の電気抵抗が生じ、これに伴い発熱、出火したものと考えられる。	ＬＧ電子ジャパン株式会社（現LG Electronics Japan株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２０年１２月１６日にプレスリリース及びホームページでの告知を行うとともに、同月１７日に新聞社告を掲載し、無償での部品交換を実施している。	(受付:2012/08/13)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200371 2012-1248 2012/08/09 （事故発生地） 東京都	電気こんろ 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社） NK-1102（松下電工(現 パナソニック)製ミニキッチンMK-GG7833	家人が外出中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2012/08/21)
A201200375 2012-1224 2012/08/07 （事故発生地） 滋賀県	ＩＨ　調理器 株式会社永泰産業（株式会社テスコムブランド） TIH101（株式会社テスコムブランド）	当該製品に水を入れた鍋をかけ、スイッチを入れてその場を離れたところ、異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の電源接続端子と基板の接続不良によりスパークが発生し、周辺の外郭樹脂に延焼したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、今回の事故とは事象が異なるが株式会社永泰産業では、当該機種について平成２３年３月１８日からメイン基板の電気部品の不良等に関して無料点検・修理を実施している。	(受付:2012/08/24)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200394 2012-1309 2012/08/18 （事故発生地） 東京都	扇風機 株式会社アピックスインターナショナル AFT-677RI	店舗で当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	○従業員が退社後に出火しており、当該製品周辺の焼損が著しかった。○当該製品は下部の焼損が著しく、前面側に転倒し焼損していた。○本体下部の電源コードが断線し、断線部に溶融痕が認められた。○本体上部の基板、下部のイオン発生装置やモーター、内部配線等に出火の痕跡は認められなかったが、下部の基板は未回収で確認できなかった。●当該製品の電源コードに出火の痕跡が認められたが、詳細な使用状況等が不明であり、下部に取り付けられていた基板が未回収により確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/08/30)
A201200403 2012-1336 2012/08/25 （事故発生地） 大阪府	照明器具 東芝機器株式会社（同社活動終了により東芝ﾗｲﾃｯｸ(株)が対応 FCZ-9633	当該製品から出火し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品の長期使用（約１８年）により、電解コンデンサーの封止ゴムが劣化したため、電解コンデンサーから電解液が漏洩し、漏洩した電解液が、実装面からはんだクラック等を通じてはんだ面にしみ出して拡散し、近傍に位置する電源ラインのパターン銅箔との間でトラッキング現象が生じ、基板の焼損に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/09/03)
A201200423 2012-1389 2012/09/02 （事故発生地） 東京都	電気洗濯乾燥機 LG電子ジャパン㈱（現LG Electronics Japan㈱） WD-E52WP	当該製品を運転したまま外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、電源と基板をつなぐ配線の接続端子部分に接続不良を生じる部品が混入していたために、当該製品を使用する際の振動により、端子部に過大な電気抵抗が生じて発熱し、発煙・発火に至ったものと推定される。	LG Electronics Japan株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２１年７月２１日にプレスリリース及び同社ホームページに情報の掲載を行うとともに、２２日に新聞社告を行い、対象製品について無償回収・交換を実施している。	(受付:2012/09/11)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200432 2012-1412 2012/09/07 （事故発生地） 鹿児島県	食器洗い乾燥機 象印マホービン株式会社 BW-E35	当該製品のスイッチを入れて外出し、家人が戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品は、給水弁パッキンの締め付け不良により水漏れを起こし、送風ファンや乾燥用ヒーターセット部に洗浄水の汚れや泡が堆積し、送風ファンの回転が低下したことにより、ヒーターが異常過熱して付近の樹脂が溶融し、発煙、発火に至ったものと推定される。	象印マホービン株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成１５年７月１０日にプレスリリースを行い、その後、複数回にわたる新聞社告で対象製品について、無償点検・修理を実施している。	(受付:2012/09/13)
A201200435 2012-1413 2012/09/08 （事故発生地） 高知県	エアコン 東芝キヤリア株式会社 RAS-506LDR	当該製品を使用中、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。	東芝キヤリア(株)は、事故の再発防止を図るため、平成１６年８月２０日より新聞社告を掲載するとともに、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）等の注意喚起を行い、さらに、平成２４年度においても、全国自治体等の広報誌への掲載を行い、対象製品の無償改修を呼び掛けている。	(受付:2012/09/13)
A201200440 2012-1414 2012/09/07 （事故発生地） 東京都	エアコン（室外機） ダイキン工業株式会社 AR2506DX	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の部品であるプリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差によりはんだ接続部に繰返し応力がかかり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至ったものと推定される。	ダイキン工業株式会社では、平成16年10月19日に新聞で社告を行って以降、複数回にわたって、折り込みチラシやダイレクトメールの配布の実施により、無償点検・修理を呼びかけるとともに、他の製品のサービス訪問時等においても対象製品を探している。	(受付:2012/09/14)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200442 2012-1401 2012/09/04 （事故発生地） 北海道	扇風機 株式会社ミュージーコーポレーション（株式会社山善ブランド） YLT-H301	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○石油ストーブの上に置かれていた当該製品が落下し、床の上で焼損していた。○当該製品の電源コードが、中間部で約４５cm欠損しており、欠損部の両端に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕かの特定はできなかった。○モーター部のコンデンサー、電源スイッチ部の基板（固定接点を含む）、弱風スイッチの可動接点などが回収されておらず、確認できなかった。○モーターなどの残存部品に出火の痕跡は認められなかった。○石油ストーブの天面には、当該製品の溶融物は認められなかった。●当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/09/18)
A201200492 2012-1540 2012/09/25 （事故発生地） 神奈川県	電気冷蔵庫 ＬＧ電子ジャパン㈱(現 LG Electronics Japan㈱) LR-A17PS	当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、コンデンサーの製造不良により、コンデンサー内部の酸化が進行し、規定以上の電気抵抗が生じて発熱・出火に至ったものと推定される。	LG Electronics Japan株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２０年１２月１６日にプレスリリース及びホームページでの告知を行うとともに、１７日に新聞社告を掲載し、対象製品について無償の部品交換を実施している。	(受付:2012/10/03)
A201200496 2012-1559 2012/09/25 （事故発生地） 長崎県	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-EX447	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品の内部部品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のＰＴＣ素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年４月１６日プレス公表、平成２４年４月１７日付けで新聞社告等を行い、引き続きホームページに情報を掲載して、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2012/10/04)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200498 2012-1560 2012/09/15 （事故発生地） 静岡県	液晶テレビ 株式会社東芝 32HE1	建物の一部を焼損する火災が発生し、幼児(3歳）1名が死亡した。現場に当該製品があった。 （ 火災 死亡 ）	○部屋角部に設置されていた当該製品周辺が焼損していた。○当該製品は焼損が著しく、右側背面の電源基板は焼失していた。○電源コードの電源プラグ側は残っており、出火の痕跡は認められなかったが、本体側は未回収で確認できなかった。○メイン基板、LEDドライバー基板、ハードディスク等の残存部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の残存部品に出火の痕跡は認められなかったが、電源基板等が未回収のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/10/05)
A201200499 2012-1614 2012/09/19 （事故発生地） 大阪府	液晶テレビ 株式会社東芝 42Z2	当該製品で視聴後、しばらくして当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （ 火災 ）	当該製品の電源基板に使用されているフィルムコンデンサーの不具合により、コンデンサー内部で絶縁劣化が生じたため、異常発熱し、発煙に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/10/09)
A201200539 2012-1660 2012/08/23 （事故発生地） 大阪府	水槽用照明器具（コンセント付き） 寿工芸株式会社 なし（デビュー３６０　水槽セット内の観賞魚用照明器具）	当該製品に他社製ヒーターを接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （ 火災 ）	当該製品のサービスコンセントに接続されていたヒーターの栓刃が両刃とも溶断していたことから、専用のフィルターを使用していなかったためサービスコンセント部分に水分が付着し、トラッキング現象が発生し、周辺に延焼したものと推定される。　なお、当該製品は、水槽、フィルターなどとセットで販売されているものであるが、その取扱説明書等では、サービスコンセントの手入れに関する注意表示、専用の部品以外の使用に関する注意表示はなかった。	寿工芸株式会社では、平成２５年２月下旬より、同社のホームページにおいて当該製品の取り扱いについて注意喚起を行うとともに、出荷する製品に注意喚起のためのチラシを同封している。	(受付:2012/10/23)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200554 2012-1916 2012/10/19 （事故発生地） 新潟県	電気冷蔵庫 株式会社東芝（現　東芝ホームアプライアンス株式会社） GR-435SZB	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品の断熱材として使用されている発泡ウレタンに充填不良があったため、断熱不良により結露が生じ、結露水が下部のコンプレッサーの始動リレー内部に浸入したため、内部短絡により発煙、発火に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、東芝ホームアプライアンス(株)は、２００８年１月より、同社ホームページにおいて、長期使用している冷蔵庫について、電気部品の一部が経年劣化により発煙・発火に至る事故が発生しているため、２５年以上（１９８３年以前の製造年度）使用している冷蔵庫は、使用を中止するよう、注意喚起している。	(受付:2012/10/29)
A201200567 2012-1942 2012/10/20 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-WA35C	当該製品を使用中、異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のＰＴＣ素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年４月１６日プレス公表、平成２４年４月１７日付けで新聞社告等を行い、引き続きホームページに情報を掲載して、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2012/11/01)
A201200577 2012-1770 2012/10/09 （事故発生地） 福岡県	充電器（電気シェーバー用） 株式会社泉精器製作所（ｾｲｺｰｴｽﾔｰﾄﾞ㈱ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ） RC01（セイコーエスヤード株式会社ブランド）	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の発振トランスの巻線で絶縁不良をおこし、短絡して過電流が流れることにより過熱し、出火に至ったものと考えられる。	株式会社泉精器製作所では、事故の再発防止を図るため、平成１２年６月６日に新聞社告を行い回収(製品の償交換)を開始し、以降数次にわたり、社告周知を行っている。	(受付:2012/11/02)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200626 2012-2162 2012/11/13 （事故発生地） 大阪府	電子レンジ 株式会社千石（岩谷産業株式会社ブランド） IM-574（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品を使用中、異臭に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。	販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成１５年９月２日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビＣＭ放送で、注意喚起を行い、対象製品について、無償改修（スイッチ部の交換）を実施している。また、平成２２年以降数回にわたり、テレビＣＭ放送で使用者に対して注意喚起し、速やかに連絡を頂くよう呼び掛けている。	(受付:2012/11/26)
A201200644 2012-2210 2012/11/21 （事故発生地） 東京都	エアコン（室外機） ダイキン工業株式会社 RA225GX	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の部品であるプリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差によりはんだ接続部に繰返し応力がかかり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至ったものと推定される。	ダイキン工業株式会社では、平成16年10月19日に新聞で社告を行って以降、複数回にわたって、折り込みチラシやダイレクトメールの配布の実施により、無償点検・修理を呼びかけるとともに、他の製品のサービス訪問時等においても対象製品を探している。	(受付:2012/12/03)
A201200657 2012-2144 2012/11/21 （事故発生地） 奈良県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 株式会社千石（小泉成器株式会社ブランド） KKS-1270（小泉成器株式会社ブランド）	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の制御基板に接続した電源入力線のコネクター端子にカシメ不良があったため、接触不良が生じて異常発熱し、コネクター樹脂が焼損したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/12/06)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200700 2012-2365 2012/12/15 （事故発生地） 東京都	電気洗濯機 三洋ハイアール（株）(現ハイアールジャパンセールス（株）) HSW-50S3	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のモーター用コンデンサーの製造工程において、異物が混入していたため、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、出火に至ったものと推定される。	三洋ハイアール株式会社（現ハイアールジャパンセールス株式会社）では、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２２年１１月１２日新聞社告、平成２４年９月２１日プレス公表、平成２４年９月２２日新聞再社告を行い、無償点検・部品の無償交換を実施している（三洋ハイアール株式会社（２００７年３月解散）が輸入した電気洗濯機も含む）。	(受付:2012/12/18)
A201200728 2012-2288 2012/11/17 （事故発生地） 福岡県	投げ込み式湯沸器 株式会社津田商事 TSE-22-T(HI)	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のメインスイッチを切らずに浴槽から出して放置したことに加え、安全装置(フロートスイッチ等の過熱防止機能）が適切に働かず、発煙、出火したものと考えられる。	株式会社津田商事は、対象機種について、平成１９年５月８日に新聞社告を掲載し、また、ホームページでの情報掲載等により、注意喚起を行うとともに、平成１９年５月２０日から追加安全装置（電極式水感スイッチ）を無償配布する措置をとっている。	(受付:2012/12/27)
A201200900 2012-3028 2013/02/02 （事故発生地） 熊本県	電気洗濯機 ハイアールジャパンセールス株式会社 HSW-50S3	当該製品のスイッチを入れ就寝中、火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のモーター用コンデンサーの製造工程において、異物が混入していたため、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、出火に至ったものと推定される。	ハイアールジャパンセールス株式会社では、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２２年１１月１２日新聞社告、平成２４年９月２１日プレス公表、平成２４年９月２２日新聞再社告を行い、無償点検・部品の無償交換を実施している（三洋ハイアール株式会社（２００７年３月解散）が輸入した電気洗濯機も含む）。	(受付:2013/02/13)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200912 2012-3127 2013/01/31 （事故発生地） 埼玉県	電気ストーブ 松木技研株式会社 ST-M85(A)	当該製品を使用したまま就寝中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、ヒーター管端子へ接続するリード線の圧着端子とリード線のカシメ不良により、接触不良が生じて出火に至ったものと推定される。	松木技研株式会社は、対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成１７年１２月８日に新聞社告を掲載するとともに、販売店を通じ、回収（返金又は交換）の呼び掛けを行っている。	(受付:2013/02/14)
A201200997 2012-3357 2013/02/25 （事故発生地） 神奈川県	電子レンジ 三洋電機株式会社 EMO-CH6	当該製品を使用後、異臭に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損し、周辺を汚損した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の電源コードと基板を接続する配線に製造時の不具合があったため、その後の使用によって接触不良が生じ、接続部が発熱して電源コード被覆が発火し、製品内の冷却用ファンに延焼したものと推定される。	事故の再発防止を図るため、平成２０年６月２０日にホームページへの情報掲載を行うとともに、同年６月２１日に新聞社告を掲載し、対象製品について、注意喚起及び無償改修（電源コードの交換及び難燃性を向上させた冷却用ファンへの交換）を実施しています。また、同社では、平成２１年６月９日から１８日にかけて新聞社告を再度掲載、平成２２年９月から当該リコール情報を掲載したチラシを作成して販売店等を通じ消費者に配布を行っています。更に平成２３年２月から生活情報誌等に広告を掲載するとともに、同年４月から再度ダイレクトメールの発送を行っています。また、応答のない使用者に電話連絡や訪問を行う等引き続き注意喚起及び無償改修を呼び掛けています。	(受付:2013/03/07)
A201201020 2012-3432 2013/03/02 （事故発生地） 千葉県	電子レンジ 株式会社千石（岩谷産業株式会社ブランド） IM-575（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。	販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成１５年９月２日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビＣＭ放送で、注意喚起を行い、対象製品について、無償改修（スイッチ部の交換）を実施している。また、平成２２年以降数回にわたり、テレビＣＭ放送で使用者に対して注意喚起し、速やかに連絡を頂くよう呼び掛けている。	(受付:2013/03/14)

製品区分：　02.台所・食卓用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200152 2012-0481 2012/04/13 （事故発生地） 東京都	鍋 和平フレイズ株式会社 AR-4884	当該製品で調理後、蓋をしようとした際、手に火傷を負った。 （重傷）	○使用者は、当該製品の鍋口に付属の蓋を置いたところ、蓋がうまくはまらずに鍋の中に入った。○蓋が鍋の中に入った際、鍋の中にあった油が使用者の手にかかった。○当該製品の蓋の直径は、鍋口の直径よりも約2.0mm大きく、蓋を鍋口に対し水平に置いたところ蓋が鍋の中に入ることはなかった。○当該製品の蓋を斜めに鍋口に押しつけたところ、鍋口がたわんで、蓋が鍋の中に入った。○蓋を鍋の中に入れるのに必要な力は、約8.5Nであった。○事故時の使用者の蓋の置き方についての詳細を特定できなかった。●当該製品の蓋が鍋口に押しつけられるように置かれたために鍋口が拡がり、蓋が鍋の中に入って、事故に至った可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/24)
A201200493 2012-1543 2012/08/15 （事故発生地） 千葉県	ガラス製容器 株式会社岩城ハウスウエア ＫＢＴ６８２	当該製品をシンク内に移動した際、当該製品がシンク台に当たり破損し、左手を負傷した。 （重傷）	○使用者は、当該製品をシンクに入れようとした際、シンク台に当該製品を軽くぶつけた。○使用者は、破損した当該製品の破片で、左手中指を負傷した。○当該製品は廃棄されており、確認することができなかった。○事故状況の詳細や当該製品の使用実態については、特定することができなかった。○当該製品は、11年間使用されていた。●使用者が破損した当該製品に触れて事故に至ったものと考えられるが、当該製品や、事故状況の詳細が不明なため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/10/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100417 2011-2404 2011/08/13 （事故発生地） 千葉県	ガスボンベ イワタニ・プリムス株式会社 IP-500G	ガスカートリッジ直結型ガスこんろに当該製品を接続し使用後、当該製品を外した際、ガスが漏洩し、近くで使用していた炭火が引火、１名が火傷を負った。 （重傷）	当該製品は、先端バルブ周辺が局所的に高温となったためハウジングが溶落していた状態で当該製品を使用し、その後、ガスカートリッジ直結型ガスこんろを取り外したため、ガスが漏れて近くの火源に引火し、事故に至った可能性が考えられるが、先端バルブ周辺が局所的に高温となった原因が不明なため、製品に起因するか否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/09/15)
A201100639 2011-3284 2011/11/15 （事故発生地） 長崎県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-5	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品の通風調節器が塞がれた状態で着火遅れが生じて点火したことにより、未燃灯油が燃えて、炎が送風機の給気口から本体内部へ噴き出し、給気口に近接した内部配線を焼損させるとともに、前パネルの隙間から炎があふれて、近くの可燃物に引火したものと考えられるが、着火遅れの原因となる点火用電極とノズル間の間隔が広がった原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/11/29)
A201100688 2011-3448 2011/12/02 （事故発生地） 沖縄県	石油給湯機 株式会社長府製作所 IB-36S	当該製品から発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	当該製品の点火装置やバーナー装置に不具合があったため、点火不良による着火遅れが発生し、バーナーノズルから噴霧された灯油に爆発的に着火して燃焼室の内圧が上がり、送風機の空気取り入れ口から吹き返した炎により、周辺の配線被覆等に着火したか、送油管と燃料濾過器とのフレア接続部から漏れていた灯油に引火し、機器焼損に至ったことが考えられるが、機器の焼損が著しいことから原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/12/12)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100758 2011-3596 2011/12/21 （事故発生地） 宮崎県	ガスこんろ（ＬＰガス用） 株式会社パロマ PA-N308WG-1R	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	当該製品の焼損が著しく、また、事故当時の状況が不明であることから、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/12/28)
A201100785 2011-3600 2011/12/16 （事故発生地） 青森県	石油給湯機付ふろがま 宝栄工業株式会社 HB-61（株式会社サンダイヤブランド）	ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	当該製品内部の基板やバーナーのイグナイターに異常はなく、オイルストレーナーに接続していた油送用ゴムホースの先端に割れが生じて油が漏れ、引火したものと考えられるが、ゴムホース先端の割れについて原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/04)
A201100905 2011-3961 2012/01/19 （事故発生地） 長野県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-11	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故の原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽排水栓の閉め方が不十分で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、１３件の点検用コネクターの戻し忘れ・空焚きによる事故が発生したことから、事故の防止を図るため、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成１９年７月２７日にプレスリリースを行い、点検用コネクターが使用されているかについて無償点検及び空焚き防止装置の作動頻度の多い機種（機種名ＣＫ－１１及びＣＫ－１１Ｓ）において、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施し、平成１９年７月２８日に新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、ＴＶＣＭやホームページ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2012/01/30)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100919 2011-3855 2012/01/07 （事故発生地） 長崎県	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 RT-660GFTS	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品の焼損が著しく、使用状況も不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/31)
A201100922 2011-3968 2011/02/25 （事故発生地） 滋賀県	カセットこんろ 株式会社旭製作所（岩谷産業株式会社ブランド） ASF-35（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品が何らかの原因で点火したことにより、ワゴン中段のカセットこんろが下方から加熱され、装着されていたカセットボンベが過熱して内圧が高くなって破裂し、火災に至ったものと考えられるが、詳細な使用状況が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。なお、取扱説明書には、使用後の取扱いとして「容器（ボンベ）を取りはずす」、「乾電池を取りはずす」旨、記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/01)
A201100923 2011-3998 2011/12/24 （事故発生地） 東京都	強制給排気式（ＦＦ式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用） リンナイ株式会社 RUF-V1615SAFFD	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品は、電装基板上の水量制御器モーター用ＩＣが焼損しており、水量制御器内のモーターは、整流子の溝部分にブラシから発生したものと考えられる粘りけのある摩耗粉が詰まっていたことから、水量制御器内のギア部に塗布したグリス量が多く、油分がモーター内部に浸入し、モーター整流子の溝に摩耗粉が詰まり、整流子間で短絡が生じ、電装基板上のモーター駆動用ＩＣに過電流が流れたため、発煙・焼損に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/02)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100934 2011-3664 2012/01/08 （事故発生地） 北海道	開放式ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 RUS-5BXK	当該製品の点火操作を繰り返したところ、当該製品から発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	当該製品は、凍結した状態で点火操作を行ったことから、水が流れない状態で過熱されたため空焚きとなり、スピンドルが凍結と経年による汚れ等で戻りが不十分であったところに何らかの理由でガス栓軸が戻らなかったか、または、セーフティバブにゴミ等の異物が挟まったことで消火作動に不具合が生じ、温度ヒューズ溶断により安全装置が働いた後も、ガスが流れ続け空焚き状態が継続したことが考えられるが、ガスが流れ続けた原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/03)
A201100935 2011-4003 2012/01/10 （事故発生地） 北海道	石油給湯機 株式会社コロナ UIB-3030CX（ＦＦ）	異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は、缶体中央付近に水漏れの痕跡や、底板に腐食が認められることから、缶体からの水漏れによって底板が腐食し、腐食部分から熱が漏れて火災に至ったものと考えられるが、缶体が水漏れに至った原因が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/03)
A201100941 2011-3924 2012/01/24 （事故発生地） 石川県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社千石(日本エー・アイ・シー株式会社「アラジン」ブランド) AKF-P321N(日本エー・アイ・シー株式会社「アラジン」ブランド)	建物を全焼、1名が死亡する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	当該製品に異常が認められないが、焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100956 2011-4095 2012/01/31 （事故発生地） 山形県	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-3300TXA(MS)	当該製品を使用中、シャワーのお湯が出ないため点火操作を繰り返したところ、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	当該製品の残存部品には、発火の痕跡が認められないものの未確認の部品もあり、また、事故当時の使用状況も不明なことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/09)
A201100989 2011-4155 2012/02/02 （事故発生地） 和歌山県	石油給湯機 株式会社長府製作所 IB-385SR	当該製品で浴槽に給湯中、湯温が低下していたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	当該製品は、燃焼室底炉材に欠落が確認されたことから、給水口及び出湯口接続部から水漏れの状態での長期使用によって、結露等の影響を受けた燃焼室底炉材が高温の燃焼ガスによって劣化して欠落し、缶体底板及び土台が熱の影響を受けて穴が開き、開いた穴から高温の燃焼ガスが漏れて下部周辺にあった可燃物に着火、火災に至ったものと考えられるが、給水口及び出湯口接続部からの水漏れの原因が不明なため、事故原因の特定には至らないものの、製品に起因する事故と推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/14)
A201100998 2011-4186 2012/02/03 （事故発生地） 愛媛県	石油ストーブ（開放式） 株式会社千石（株式会社グリーンウッドブランド） GKP-S241N（株式会社グリーンウッドブランド）	当該製品に給油しようと、カートリッジタンクを引き抜いたところ、灯油がこぼれ出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損、1名が火傷を負った。 （火災）	事故原因は、当該製品のカートリッジタンクの蓋（口金キャップ）が本体に確実にロックされない状態であったにもかかわらず、蓋が閉まったと誤認しやすい構造であったため、カートリッジタンクを出した際に蓋が外れ、漏れた灯油に引火したと考えられる。	株式会社千石は、当該製品を含む対象機種について、平成２２年９月１日に新聞社告を掲載し、また、ホームページへの情報掲載により、注意喚起を行うとともに、蓋の部品を変更したカートリッジタンクとの無償交換を実施している。	(受付:2012/02/16)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101043 2011-4259 2012/02/14 （事故発生地） 福岡県	ガス給湯付ふろがま（ＬＰガス用） 松下電器産業株式会社（現　パナソニック株式会社） GJ-C16T1	当該製品の電源が入らないため、確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は事故の２日前に部品の修理交換が行われており、ノズルホルダーには都市ガス用部品が取り付けられていたことから、当該製品を修理交換した際、誤ってガス種の異なる部品を取り付けたため、異常燃焼が発生して、熱交換器内部が不完全燃焼によるススで閉塞状態となり、排気口から排出された不完全燃焼の未燃ガスに引火して事故に至ったものと考えられる。	パナソニック株式会社は、事故後、修理員の再教育、サービス部品の注意喚起表示の追加、ガス機器商品の修理マニュアルの作成・再整備を実施している。	(受付:2012/02/24)
A201101051 2011-4146 2012/01/29 （事故発生地） 宮城県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-5	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品は長期間使用によって底板と目地材の気密性の低下が起こり、排気漏れや煤の付着によるノズルの詰まりによって燃焼不良、噴霧不良及び着火遅れが生じて未燃灯油がふろがま内部に付着した煤等にしみ込み、引火したものと考えられるが、事故時の使用状況の詳細が不明であり、製品起因か否かを含め事故原因を特定するには至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/27)
A201101055 2011-4297 2012/02/02 （事故発生地） 岡山県	ガスふろがま（ＬＰガス用） 日本楽器製造株式会社（現　ヤマハリビングテック株式会社） YB-S214A又はYB-S214AC	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品からのガス漏れ及び異常燃焼の痕跡が認められないことから、使用中に長期使用によって老朽化したバーナーケースの消失部分等から風が侵入し、燃焼中の炎が外部へ溢れて、近傍の可燃物に引火し火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/28)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101060 2011-4298 2012/02/20 （事故発生地） 栃木県	屋外式（ＲＦ式）ガス給湯付ふろがま（ＬＰガス用） 株式会社ノーリツ GT-162AR	当該製品で給湯中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は、機器内部の電機部品及び配線類に焼損の痕跡は認められず、電装部品及びふろ側の燃焼には異常が認められなかったが、給湯側の燃焼空気供給ファンのホコリや熱交換器フィン等へのススの付着状態から、異常燃焼が生じて未燃ガスが排気口周辺に滞留、排気熱で燃焼して、近接に設置されていた樹脂製の板に着火したものと考えられるが、使用状況の詳細が不明なため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/28)
A201101072 2011-4333 2012/02/18 （事故発生地） 埼玉県	石油ふろがま（薪兼用） 株式会社長府製作所 CH2S	当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	屋内用の当該製品が屋外の浴室外壁横に十分な離隔距離を取らずに設置されていたために、雨水の影響によりバーナー口ふさぎふたが腐食して穴が開き、漏れ出た熱により浴室外壁が過熱されて炭化し、発火に至った可能性が考えられるが、当該製品の設置をした者が不明なため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/01)
A201101074 2011-4335 2012/02/21 （事故発生地） 新潟県	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-3300TXA(MS)	当該製品を使用後、停電したため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	本来、本体の外側に引き出すものである当該製品の電源コードの余長部分が、本体内のサイレンサに近接した位置に押し込まれており、著しく焼損し、溶融痕が認められたことか、当該電源コードの余長部分がふろがま本体内部に押し込まれてたため、本体内部で高温の影響により絶縁被覆が劣化して短絡、火花が周辺コード等の被覆に着火し火災に至ったものと考えられるが、設置時の状況が不明であり、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/02)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101091 2011-4354 2012/02/23 （事故発生地） 福岡県	石油給湯機付ふろがま ＴＯＴＯ株式会社（製造：東陶ユプロ株式会社（解散）） RPE33KAB（髙木産業株式会社ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ：型式AX-321ARD）	当該製品を使用中、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の送油ユニット部分において、電磁ポンプパッキンを押さえる板がずれた状態で組み付けたため、すき間から油漏れが発生し、出火に至ったものと考えられる。	東陶ユプロ株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２０年９月に新聞社告の掲載及びホームページによる告知により注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償点検・改修を実施している。また、同社は、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種があるかの確認を継続して実施しており、平成２１年１２月からの取組みとして、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2012/03/07)
A201101094 2011-4396 2012/02/23 （事故発生地） 宮城県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 JPK-N3	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、１３件の点検用コネクターの戻し忘れ・空焚きによる事故が発生したことから、事故の防止を図るため、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成１９年７月２７日にプレスリリースを行い、点検用コネクターの戻し忘れがないかについて無償点検することとした。また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる２機種（ＣＫ－１１及びＣＫ－１１Ｓ）については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施することとした。平成１９年７月２８日には新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、ＴＶＣＭやホームページ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2012/03/08)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101097 2011-4398 2012/02/22 （事故発生地） 鳥取県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-3080Y	当該製品を使用中、当該製品を消火せずにカートリッジタンクを外しその場を離れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品には異常燃焼が確認されないことから、置き台に堆積したホコリに何らかの火種が着火して火災に至ったものと考えられるが、置き台に着火源となる要因が確認できず、着火源や発火場所の特定ができなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/09)
A201101104 2011-4427 2012/03/05 （事故発生地） 香川県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） IC-E600F	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	当該製品は、背面の壁との離隔距離が不足した設置であったことから、恒常的な使用によって壁が当該製品の熱により炭化、事故当日の長時間の加熱によって炭化した壁が低温発火して、火災に至ったものと考えられるが、設置事業者等を特定することはできなかった。　なお、取扱説明書には、周囲に可燃物がある場合、「側面および後面は、１５ｃｍ以上離す」旨の記載がされている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/12)
A201101105 2011-4428 2012/03/01 （事故発生地） 北海道	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-LD300X(FFK)	異音と異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は、当該事業者のサービス認定店が行った修理時に、イグナイターの二次側端子が放電電極の端子に正しく接続されなかったことにより端子部でスパークが発生し、ゴム製の電線被覆が焼損、更に上部に位置するゴム製の給気ホースに燃え広がったものと考えられる。	株式会社コロナは、再発防止策として、平成２４年６月に事業者から修理業者に対し、修理終了時に電線のコネクターが確実に差し込まれているか、更には電線に噛み込みやストレスは加わっていないか確認を徹底するよう、指導を行った。	(受付:2012/03/12)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101112 2011-4443 2012/03/04 （事故発生地） 福島県	石油給湯機 株式会社コロナ UIB-3300TXA(MS)	店舗で当該製品を使用後、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は、家庭での使用に加え、頻度の多い飲食店での使用により、ノズルが劣化し、噴霧不良による異常燃焼により熱交換器へススが付着したことから、排ガス温度が上昇し、排気経路のパッキンやシール剤が熱で劣化して機器内部へ高温の排ガスが漏れ、機器内部の焼損に至ったものと考えられるが、焼損が著しく、発火源の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/15)
A201101116 2011-4444 2012/02/22 （事故発生地） 千葉県	カセットこんろ 株式会社旭製作所（岩谷産業株式会社ブランド） A-2（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生しており、その後、当該製品に接続したカセットボンベが破裂し、1名が火傷を負った。 （火災）	当該製品のOリングがささくれていたことから、カセットボンベとの接続部に隙間が生じてガスが漏れ、当該製品の火が引火して火災に至った可能性が考えられるが、使用状況が不明のため、Oリングがささくれていた要因が特定できず、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/15)
A201101117 2011-4445 2012/02/29 （事故発生地） 新潟県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-4070S	当該製品を使用中、消火せずに給油をしたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品内部の燃焼室等燃焼系部分には異常燃焼及び出火の痕跡が認められなかったが、メイン基板の焼損が著しく、基板上の異常の有無について確認できなかったこと及び使用状況の詳細が不明なことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/15)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101121 2011-4446 2012/03/08 （事故発生地） 長野県	石油給湯機付ふろがま 株式会社ノーリツ ORM-240Y	当該製品を使用中、異音がしたため入切り操作を行ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品の空焚き防止用の水位スイッチが何らかの理由で作動せずに空焚き状態となり、ゴム製給油ホースから漏れた灯油に引火するなどして火災に至ったものと考えられるが、灯油漏れ及びふろ水位スイッチが不作動であった原因が不明であることから事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/16)
A201101135 2011-4498 2012/03/12 （事故発生地） 愛知県	石油給湯機 ネポン株式会社 UK-320S	入浴中、異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	当該製品は、内部から出火に至っており、長期使用（約１６年）により、高圧コードの接続に緩みが生じ、スパークにより出火に至った可能性が考えられるが、当該製品には点火不良などの異常は発生していなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/22)
A201101139 2011-4500 2012/03/11 （事故発生地） 神奈川県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-5	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品のノズルに異物混入による噴霧不良が認められたことから、着火遅れや燃焼不良によって生じた未燃灯油が底板などに漏れて染み込み、目地材の割れからの排気で気化して着火し事故に至った可能性が考えられるが、焼損が著しく異物が混入した要因が不明のため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。なお、取扱説明書には、灯油タンクについて定期的（１回／３か月）に掃除する旨警告表記されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/22)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101159 2012-0004 2012/03/15 （事故発生地） 香川県	石油給湯機 株式会社長府製作所 IB-W	当該製品を使用中、勝手口の外が明るくなっていたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	当該製品は、消音筒の腐食により多量のゴミや煤が堆積して排気能力が低下、バーナーロパッキンがないために、燃焼ガスが漏れ、漏れた燃焼ガスを送風用ファンが吸い込むショートサイクルの状態であり、また、腐食によって缶体底板等に生じた穴からも燃焼ガスが漏れ、漏れた燃焼ガスにより付近のゴムホース及び配線被膜を焼損して発火に至ったものと考えられるが、設置状況等の詳細が不明なため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/27)
A201200002 2012-0086 2012/02/09 （事故発生地） 山形県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-E271WY	建物を全焼する火災が発生した。 （火災）	当該製品は、カートリッジタンクの口金部の蝶番が歪み蓋側口金台が本来の位置からずれており、ロックの掛かりが浅かった。そのため、給油タンクをストーブへ戻す際に、給油口の口金がストーブに接触する衝撃で、ロックが外れ口金が開き、消火していなかった当該製品に灯油がこぼれ、出火に至ったものと考えられるが、蝶番が変形していた原因が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/02)
A201200003 2012-0087 2012/03/27 （事故発生地） 岩手県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-550DX	当該製品を点火し、その場を離れ戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品の電源コードが短絡し、内部配線へ延焼して火災に至ったものと考えられるが、電源コードが短絡した原因が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/02)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200011 2012-0118 2012/03/30 （事故発生地） 石川県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-302Y	当該製品を使用中、異音がして、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、制御弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	株式会社ノーリツは、当該製品を含む対象機種の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、平成１４年１０月２４日から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っている。さらに、平成２１年１２月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2012/04/05)
A201200015 2012-0119 2012/03/27 （事故発生地） 千葉県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-566L	当該製品を使用中、異音がした後、当該製品周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	運転中の当該製品から異音がした後、吹き出し口から火の粉が吹き出した。当該製品は、バーナー火口網の変形（凹み）とバルブロッドのカーボン付着によって燃焼量が低下していたことから、事故時にも異常燃焼があった可能性が考えられるが、カーボンが付着した経緯は不明であった。また、火の粉が吹き出したメカニズムについても特定できなかったため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/06)
A201200032 2012-0167 2012/03/30 （事故発生地） 兵庫県	ガスふろがま用バーナー（ＬＰガス用） 株式会社世田谷製作所 TA-OK270	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故の原因は、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	株式会社世田谷製作所は、当該製品を含む対象機種について、平成１９年４月１９日からホームページによる告知により注意喚起を行い、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2012/04/10)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200048 2012-0219 2012/04/11 （事故発生地） 東京都	密閉式（ＢＦ式）ガス瞬間湯沸器（都市ガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） PH-12BFA（東京ガス㈱ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ：型式PA-112BF）	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は、長期使用（約３８年）により、能力切替つまみ軸からガス漏れが生じたため、出火に至った可能性が考えられるが、何らかの外火により樹脂つまみが燃えて出火に至った可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/17)
A201200051 2012-0222 2012/04/09 （事故発生地） 茨城県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-302Y	入浴中、浴室の照明が消えたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、制御弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	株式会社ノーリツは、当該製品を含む対象機種の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、平成１４年１０月２４日から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っている。さらに、平成２１年１２月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2012/04/17)
A201200067 2012-0081 2012/03/28 （事故発生地） 石川県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） 不明	建物を全焼する火災が発生し、１名が火傷を負った。現場に当該製品があった。 （火災）	当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があること及び詳細な使用状況が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/23)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200074 2012-0215 2012/04/17 （事故発生地） 石川県	石油給湯機付ふろがま 株式会社ノーリツ OTQ-305SAYS	異音とともにブレーカーが作動したため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、制御弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	株式会社ノーリツは、当該製品を含む対象機種の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、平成１４年１０月２４日から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っています。さらに、平成２１年１２月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2012/04/25)
A201200122 2012-0379 2012/04/07 （事故発生地） 愛知県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） 不明	当該製品を使用後、外出し、戻ったところ、当該製品及び２棟を焼損する火災が発生しており、隣家の１名が死亡した。 （火災　死亡）	詳細な使用状況が不明であり、当該製品は変形・焼損が著しく、器具栓が未回収で確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/11)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200125 2012-0408 2012/05/02 （事故発生地） 福島県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-11S	当該製品を使用中、停電したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故の原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、13件の点検用コネクターの戻し忘れ・空焚きによる事故が発生したことから、事故の防止を図るため、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成19年7月27日にプレスリリースを行い、点検用コネクターの戻し忘れがないかについて無償点検することとした。また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる２機種（CK-11及びCK-11S（当該製品））については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施することとした。平成19年7月28日には新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、TVCMやホームページ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2012/05/14)
A201200157 2012-0480 2012/05/17 （事故発生地） 秋田県	石油温風暖房機（密閉式） 株式会社コロナ FF-D100S	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は、約１０年前に譲り受けていた。下側整炎リングが天地逆の向きに取り付されていたため燃焼バランスの崩れや給気時に排気ガスを吸い込む酸素不足が生じ、継続的な使用によりススが排気管に堆積し、着火時の燃焼で排気管が異常過熱して排気管に巻かれている断熱クロスを焼損したものと考えられるが、譲り受ける以前の当該製品の状況が不明であることから事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/24)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200187 2012-0575 2012/05/26 （事故発生地） 広島県	石油給湯機（薪兼用） 株式会社ノーリツ EB-1200	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	当該製品は焼損が著しく、確認できなかった部品もあることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/07)
A201200198 2012-0597 2012/05/07 （事故発生地） 京都府	石油給湯機 株式会社ノーリツ MBX-4500	工場内で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品は焼損が著しく、確認できなかった部品もあることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/11)
A201200215 2012-0649 2012/06/14 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（半密閉式） 株式会社コロナ UH-85X3	店舗で発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	電源コードとリレー基板を接続するタブ端子が一部溶損していた。当該製品の燃焼部位及び残存する電気部品に発火の痕跡が認められなかったことから、電源コードのタブ端子付近からの出火の可能性が考えられるが、事故当時の状況及び使用状況の詳細が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/19)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200249 2012-0782 2012/06/29 （事故発生地） 大阪府	屋外式（ＲＦ式）ガスふろがま（都市ガス用） 株式会社オカキン OK-AR型-LE	家人が外出中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部のダイヤフラムに亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、機器内の焼損に至ったものと考えられる。	当該製品内の部品（バーナー）の製造事業者である株式会社世田谷製作所及び当該製品の製造事業者である株式会社オカキン並びに世田谷製作所からふろがまのＯＥＭ供給を受け、販売している他２社では、平成１９年４月１８日からホームページで告知し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償で点検及び部品交換を実施している。	(受付:2012/07/04)
A201200307 2012-0954 2012/07/15 （事故発生地） 広島県	石油給湯機 株式会社長府製作所 IB-35SR	当該製品で給湯中、沸騰した湯が出たため確認すると、当該製品の周辺を破損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品は、温度検出器（サーミスター）の経年劣化により温度検知が不安定となり、湯温の制御が安定せず、缶水の加熱が継続的になされ、出湯口と給湯配管との接続部付近を覆ったウレタン樹脂製断熱材内部で低温着火に至ったものと考えられ、製品に起因する事故と推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/24)
A201200385 2012-1238 2012/08/20 （事故発生地） 群馬県	屋外式（ＲＦ式）ガス給湯付ふろがま（ＬＰガス用） 株式会社ノーリツ T-248SAR	当該製品を使用したところ、エラー表示が出てお湯が出なかったため使用を中止した。その後、異臭がし、更に当該製品から発煙し、当該製品の内部を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品のガス一次側のＯリングが事故前日にねじれた状態で取り付けられたため、ガス漏が生じ、スイッチを入れたさいの点火動作によって引火し、内部の可燃物を焼損し、火災に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)ノーリツは、平成24年年9月21日に、事業者のサービスショップ社員に対し、点検・修理に関する研修を実施した。	(受付:2012/08/27)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200488 2012-1535 2012/09/27 （事故発生地） 埼玉県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-405YSA	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の電磁弁に使用されているＯリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)ノーリツは、平成１４年１０月から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。	(受付:2012/10/01)
A201200517 2012-1675 2012/10/09 （事故発生地） 宮城県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-302YS	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の電磁弁に使用されているＯリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)ノーリツは、平成１４年１０月から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。	(受付:2012/10/15)
A201200520 2012-1683 2012/10/16 （事故発生地） 千葉県	石油給湯機 ＴＯＴＯ株式会社　［製造：東陶ユプロ株式会社　（解散）］ RPH40KSS	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されている部品のＯリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したと考えられる。	当該製品を含む対象機種については、油量を調整するための電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化し、硬化、収縮したことで器具内に灯油が漏れ、これに引火して機器内部が焼損に至る事故が発生していることから、東陶ユプロ株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、平成１４年１０月及び平成１８年１２月に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を実施している。さらに、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続実施しており、平成２１年１２月からの取組みとして、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2012/10/18)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200550 2012-1775 2012/10/16 （事故発生地） 宮城県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-11S	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故の原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、13件の点検用コネクターの戻し忘れ・空焚きによる事故が発生したことから、事故の防止を図るため、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成19年7月27日にプレスリリースを行い、点検用コネクターの戻し忘れがないかについて無償点検することとした。また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S（当該製品））については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施することとした。平成19年7月28日には新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、TVCMやホームページ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2012/10/26)
A201200558 2012-1912 2012/08/03 （事故発生地） 愛知県	カセットこんろ 株式会社旭製作所（岩谷産業株式会社ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ） RBT-A（岩谷産業株式会社ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ）	飲食店で当該製品を使用中、当該製品に接続したカセットボンベが破損し、1名が負傷した。 （重傷）	事故当時の詳細な状況は確認できなかったが、当該製品の水入れ皿に水がなく、汚れの付着が著しかったことから、バーナー消火後も水入れ皿に溜まった油や調理物が燃え続け、ガスボンベが過熱し、内圧上昇により破裂した可能性が考えられ、事故原因は飲食店の不注意と考えられる。また、取扱説明書に水が無くなった場合や汚れの付着による火災の影響について記載はあったが、警告表示記載ではなかったこと等も事故に至った原因の一つと考えられる。	株式会社旭製作所では、取扱説明書に加え、リーフレットで注意喚起を行っていたが、2012年11月出荷分から、取扱説明書、リーフレットの中で、水が無くなった場合や汚れの放置についての危険性を警告表示に改める等の措置を取り、再発防止に努めている。	(受付:2012/10/29)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200651 2012-2209 2012/11/26 （事故発生地） 静岡県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-405Y	当該製品を使用中、湯温が低いため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の電磁弁に使用されているＯリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)ノーリツは、平成１４年１０月から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。	(受付:2012/12/05)
A201200696 2012-2356 2012/12/05 （事故発生地） 岐阜県	密閉式（ＢＦ式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用） リンナイ株式会社（東邦ガス株式会社ブランド） RBF-22S（東邦ガス株式会社ブランド：型式RUB-6(N)）	当該製品で追い焚きしていたところ、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品は長期間使用（約２３年）により熱交換器に亀裂が入り、水漏れが生じたため、器具内に水が溜まり、異常燃焼が生じ、事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/12/18)
A201200722 2012-2406 2012/12/16 （事故発生地） 宮城県	石油給湯機付ふろがま 株式会社ノーリツ OTQ-405SAY	当該製品を使用後、しばらくして当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の電磁弁に使用されているＯリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)ノーリツは、平成１４年１０月から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。	(受付:2012/12/25)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200757 2012-2456 2012/12/28 （事故発生地） 長野県	石油給湯機 ＴＯＴＯ株式会社　［製造：東陶ユプロ株式会社　（解散）］ RPH40KLS	当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されている部品のＯリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したと考えられる。	当該製品を含む対象機種については、油量を調整するための電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化し、硬化、収縮したことで器具内に灯油が漏れ、これに引火して機器内部が焼損に至る事故が発生していることから、東陶ユプロ株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、平成１４年１０月及び平成１８年１２月に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を実施している。さらに、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続実施しており、平成２１年１２月からの取組みとして、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2013/01/04)
A201200775 2012-2566 2012/12/30 （事故発生地） 千葉県	石油給湯機付ふろがま ＴＯＴＯ株式会社　［製造：東陶ユプロ株式会社　（解散）］ RPE32KSS	当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されている部品のＯリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したと考えられる。	当該製品を含む対象機種については、油量を調整するための電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化し、硬化、収縮したことで器具内に灯油が漏れ、これに引火して機器内部が焼損に至る事故が発生していることから、東陶ユプロ株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、平成１４年１０月及び平成１８年１２月に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を実施している。さらに、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続実施しており、平成２１年１２月からの取組みとして、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2013/01/15)
A201200807 2012-2620 2013/01/15 （事故発生地） 千葉県	石油給湯機 ＴＯＴＯ株式会社［製造：東陶ユプロ株式会社（解散）］ RPH32KSS	当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されている部品のＯリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したと考えられる。	当該製品を含む対象機種については、油量を調整するための電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化し、硬化、収縮したことで器具内に灯油が漏れ、これに引火して機器内部が焼損に至る事故が発生していることから、東陶ユプロ株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、平成１４年１０月及び平成１８年１２月に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を実施している。さらに、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続実施しており、平成２１年１２月からの取組みとして、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2013/01/22)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200830 2012-2936 2013/01/12 （事故発生地） 高知県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-2240	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、カートリッジタンクに給油した後、カートリッジタンクのふたが完全にロックされていない状態であったために、本体に戻そうとふたを下にした際にふたが開き、こぼれた灯油が石油ストーブにかかり出火したものと考えられる。	製造事業者であるコロナ株式会社では、平成２０年９月１７日に新聞社告及びホームページにおいて、使用時の注意喚起・啓発を実施するとともに、対象製品について、無償点検・修理を実施している。	(受付:2013/01/28)
A201200877 2012-3015 2013/01/27 （事故発生地） 山口県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-11	当該製品を使用中、異臭に気付き確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。 （火災）	事故の原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、13件の点検用コネクターの戻し忘れ・空焚きによる事故が発生したことから、事故の防止を図るため、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成19年7月27日にプレスリリースを行い、点検用コネクターの戻し忘れがないかについて無償点検することとした。また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S（当該製品））については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施することとした。平成19年7月28日には新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、TVCMやホームページ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2013/02/06)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200927 2012-3057 2013/02/08 （事故発生地） 静岡県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-305Y	異音に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の電磁弁に使用されているＯリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)ノーリツは、平成１４年１０月から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。	(受付:2013/02/18)
A201200928 2012-3166 2013/02/10 （事故発生地） 石川県	石油給湯機付ふろがま 株式会社ノーリツ OTQ-405AYS	当該製品を使用中、屋外の異常に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の電磁弁に使用されているＯリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)ノーリツは、平成１４年１０月から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。	(受付:2013/02/18)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200941 2012-3191 2013/02/08 （事故発生地） 群馬県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-11	浴槽を掃除中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、13件の点検用コネクターの戻し忘れ・空焚きによる事故が発生したことから、事故の防止を図るため、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成19年7月27日にプレスリリースを行い、点検用コネクターの戻し忘れがないかについて無償点検することとした。また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S（当該製品））については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施することとした。平成19年7月28日には新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、TVCMやホームページ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2013/02/22)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000681 2010-3105 2010/09/05 （事故発生地） 岡山県	収納家具（ウォールラック） 株式会社ニッセン 1327-6021-127	当該製品を組み立て、天井との固定板を取り付け設置された状態から、当該製品が倒れ、１名が重傷、１名が軽傷を負った。 （重傷）	○当該製品は、ネジボルト、カムロックの一部と突っ張り器具が未回収であったが、確認できた部品については変形・破損等は認められなかった。○不足部品を補充して当該製品を組立設置したところ、突っ張り器具が効いていない状態では不安定であったが、突っ張り器具を締め付けて固定すると、ぐらつき等の異常は認められなかった。○当該製品は、ネジボルト等に加え、付属のボンドを使用して組み立てるものであったが、当該ボンドが使用された痕跡は認められなかった。●当該製品の突っ張り器具の締め付けが不十分であったため転倒した可能性が考えられるが、突っ張り器具等の未回収部品の状況が確認できず、組立時の状況も不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/17)
A201100687 2011-3453 2011/11/17 （事故発生地） 京都府	電動シャッター（車庫用） 三協立山株式会社 STGD-2 2722(BKC)	当該製品を手動で開けようとシャッターの座板部を両手で持ち上げたところ、腕を負傷した。 （重傷）	当該製品は、推奨していない「隙間隠し材」が取り付けられていたため、手動でシャッターを開ける際に座板が持ち難く、さらに、スラットも上げ難い状態であったため、腕に過大な力がかかり、腕を負傷したものと考えられる。	三協立山株式会社は、本事故を受けて、販売施工店に施工要領書に従って商品の施工を行うよう要請を行った。	(受付:2011/12/12)
A201100947 2011-3669 2010/01/16 （事故発生地） 大阪府	折りたたみ椅子 イケア・ジャパン株式会社 001-622-19 / 648-331-08	当該製品の座面に両手をあて座っていたところ、座面が破損し、左手を負傷した。 （重傷）	当該製品の座面に用いられていた木材に不良品（木目が着座時に加わる荷重と同じ縦方向に入っていたもの）が混入していたことから、強度低下が生じ着座中に座面が破損して事故に至ったものと考えられる。	イケア・ジャパン株式会社は、再発防止策として、平成22年1月より検品工程を見直し、目視による検品を2箇所に増やし検品強化を実施している。	(受付:2012/02/06)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100981 2011-3760 2011/12/21 （事故発生地） 埼玉県	踏み台 株式会社光大産業 なし(株式会社カインズブランド)	当該製品を使用中、転倒し、1名（80歳代）が負傷した。 （重傷）	○使用者は、自宅の畳の上に設置した当該製品の天板の上に立って洗濯物を干していた。○当該製品の脚の１本が天板取付部から、製品内側方向に折損していた。○当該製品はパイン集成材を使用しており、折損部は木材同士を接着接合した箇所だった。○同等品による強度試験において、天板上方から4000Nを1分間加えたところ、製品に異常は認められなかった。○当該製品の集成材の接着強度に不良があったか否かについては、確認できなかった。●当該製品を使用中にバランスを崩して転倒したものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明であり、折損した脚部の接着強度に問題があったか否かも確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/13)
A201100995 2011-4168 2012/02/04 （事故発生地） 神奈川県	椅子 イケア・ジャパン株式会社 STEFANチェア	当該製品を踏み台として使用した際、当該製品の脚部が折れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品の左後脚のほぞ穴に埋木をした痕跡があり、ほぞ穴に接合していた前後脚をつなぐ部品が抜けていることから、ほぞ穴の埋木の処置が不十分であったために、使用中にぐらつきが生じて脚部の剛性が低下し、前脚上部の穴開け加工部付近に亀裂が生じて破損し事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/15)
A201101081 2011-4376 2012/02/24 （事故発生地） 山形県	除雪機（歩行型） フジイコーポレーション株式会社 FSR1100DTA-2	当該製品を使用中、当該製品の回転部に巻き込まれ、病院へ搬送後、死亡が確認された。 （死亡）	○使用者は1人で除雪作業を行っていた。○エンジンがかかった状態のまま、ローター部に男性の腕や胸が巻き込まれていた。○当該製品は製造が終了して２０年以上経過しており、取扱説明書及び当該製品に装備される安全装置についての確認ができなかった。●当該製品を使用中、使用者がエンジンを切らずに除雪機前部に立った際に、何らかの原因でローター部分に衣服が引っ掛かり引き込まれたものと推定されるが、当該製品の確認ができず、また、事故当時の詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/05)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101087 2011-4243 2012/02/26 （事故発生地） 北海道	除雪機（歩行型） 小橋工業株式会社 スノーエース　ST25	当該製品を使用中、当該製品と雪の壁の間に挟まれ、病院へ搬送後、死亡が確認された。 （死亡）	○使用者は、「当該製品をバックさせる際に運転操作を誤り、当該製品と周囲の雪山の間に挟まれた。」と説明していた。○当該製品には安全装置として、後進時の転倒による下敷き事故を防止するための安全クラッチが装備されていたが、製造後２２年以上を経た製品であり、デットマンクラッチは装備されてなかった。●当該製品をバックさせる際に、当該製品と雪山の間に使用者の身体が挟まったものと推定されるが、使用状況の詳細が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/05)
A201101133 2011-4476 2011/12/03 （事故発生地） 神奈川県	キーレス錠（ハンドル付き） 株式会社長沢製作所 KL22271MS	当該製品のレバーハンドルに手を掛けた状態で開錠操作をしていたところ、急にレバーハンドルが動き、転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品には、レバーハンドルに過大な力（トルク）が加わると、内部機構の破損防止のためにレバーハンドルが空転する安全装置が備わっている。当該製品が取り付けられていた鉄製引戸は動きが悪く、引戸を引く際に必要とする力が安全装置の作動トルク値を上回っていたと考えられる。事故の原因は、当該製品が重くて動きの悪い鉄製引き戸に取り付けられていたために、使用者が当該製品の戸を強く引いた際に、当該製品の安全装置が作動してレバーハンドルが空転し、バランスを崩して事故に至ったものと考えられる。なお、当該製品は重い鉄製引戸への取付は不向きな製品であったが、製品の取付場所に関する指示や記載がなかった。	株式会社長沢製作所は、当該事故を受けて、再発防止として、平成24年4月から当該製品を取付る際はメーカーまで問い合わせるようにカタログ表記を改訂するとともに、天候及び荷重方向によって操作性や安全性を損わない形状等の仕様変更を実施している。	(受付:2012/03/21)
A201101140 2011-4505 2012/03/11 （事故発生地） 茨城県	収納家具（台所用） サンウエーブ工業株式会社 （現　株式会社LIXIL） SWKXZH-B3026758	当該製品の棚板に収納物を載せたところ、棚板が落下して体に当たり、乗っていた脚立から使用者が転落し、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品の落下した棚は、事故時にガタつきが認められたこと及び固定金具（棚受けダボ）の側板のダボ穴に破損が認められないことから、固定金具（棚受けダボ）のダボ穴への取り付けが適切でなかったために、棚が不安定となって落下したものと考えられるが、事故時の固定金具（棚受けダボ）の状態や、取り付けに不備が生じる経緯が不明なことから事故原因の特定には至らなかった。	事業者である株式会社ＬＩＸＩＬは、再発防止として平成25年2月以降、製造する製品について、施工者用取付・設置説明書にノックダウン式固定金具の締め付け確認の注意書きの追加及びダボ穴への固定金具（棚受けダボ）の差し込み異常が認識できるワイヤー棚に形状を改良することとしている。	(受付:2012/03/22)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101151 2012-0005 2011/10/29 （事故発生地） 東京都	椅子 サンワサプライ株式会社 100-SNC034	当該製品を使用中、脚部が折れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品と同一ロットの同等品に強度不足が確認されたことから、再生回数の多い再生材が使用されたために製品強度が低下し、使用者が当該製品に腰掛けた際、脚部が破断して事故に至ったものと考えられる。	輸入事業者のサンワサプライ株式会社は、平成23年10月25日より当該製品の自主改修を行っており、対象品全ての改修を完了している。	(受付:2012/03/26)
A201200025 2012-0171 2012/02/17 （事故発生地） 北海道	除雪機（歩行型） ヤンマー株式会社 ＹＳＲ１２２	当該製品を使用後、物置に入れ、エンジン停止後、炎が見えたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	○当該製品は、既に使用者により廃棄処分されていた。○エンジンカバー、バッテリー及び配線被覆の焼損が著しいが、エンジン部分、燃料タンク、吸排気系統及びオガー部分に焼損は認められなかった。○バッテリーの(＋）端子側のターミナルに溶融痕が認められた。○当該製品が収容されていた物置は、直上の天井が焼損していたが、周囲には焼損物は認められなかった。●当該製品は、エンジンカバー、バッテリー及び配線被覆の焼損が著しいことから製品内部からの出火と考えられるが、現品の確認ができないことから、発火メカニズムの推定ができず、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/09)
A201200031 2012-0176 2012/03/17 （事故発生地） 愛知県	浴槽組蓋 株式会社ＩＮＡＸ（現　株式会社ＬＩＸＩＬ） YFK-1676B(2)R-D	入浴後、浴室の折り戸を開けたところ、立て掛けてあった当該製品が倒れ、背中に当たり負傷した。 （重傷）	当該製品には、転倒防止用の置き台が付属されていたが、使用者が置き台を使用せず、当該製品を立て掛けていたため、当該製品が倒れて背中に当たり、負傷したものと考えられるが、当該製品には置き台を使用する旨の表示がなかったことも事故に至った原因と考えられる。	株式会社ＬＩＸＩＬでは、平成24年7月31日より、自社ホームページに当該製品の使用に当たっての注意喚起を掲載している。	(受付:2012/04/10)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200201 2008-3952 2008/12/12 （事故発生地） 神奈川県	書棚（キャスター付き） イケア・ジャパン株式会社 701-030-85	当該製品に取り付けたキャスターが外れ、当該製品が落下し、右肘を負傷した。 （重傷）	事故原因は、組立説明書に記載された当該製品底部へのキャスターの取付位置が適切ではなかったことから、使用者がキャスターを取り付ける際に不適当な部分へ取り付けたため、キャスターが外れ、当該製品が落下したものと考えられる。	イケア・ジャパン株式会社は、組立説明書について、平成20年12月以降、キャスターの取付位置を適切にする改善を行っている。	(受付:2012/06/13)
A201200350 2012-1095 2012/08/01 （事故発生地） 東京都	折りたたみ椅子 山田工業株式会社（プラス株式会社ブランド） FC-532E（プラス株式会社ブランド）	当該製品に座ったところ、当該製品が破損し転倒、負傷した。 （重傷）	当該製品の座面と脚部の可動部分に使用している金具の溶接工程に不具合があったことから、座った際に金具が外れて転倒し、負傷したものと考えられる。	販売事業者であるプラス株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成15年1月8日及び平成24年9月18日に社告を実施し、対象製品の無償交換の呼びかけを実施している。	(受付:2012/08/10)
A201200376 2012-0922 2012/07/08 （事故発生地） 静岡県	食卓いす 住友商事株式会社 NO7405S	当該製品に座っていたところ、当該製品が破損し、転倒、負傷した。 （重傷）	当該製品はほぞとほぞ穴には破損がなく接着剤が付着していたことから、長期間使用（約１２年）による接着剤の劣化により、前足側のほぞ接合部が外れ分解したため、転倒に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/08/24)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200424 2012-1390 2012/07/20 （事故発生地） 東京都	折りたたみ椅子 SIS株式会社 XY-3059-BK	当該製品を使用中、当該製品の座面の溶接が外れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品の座面と左右の脚フレームを連結している支持棒の溶接が適切でなかったために、短期間の使用で破損し、使用者が着席中に座面が脱落して事故に至ったものと考えられる。	輸入事業者であるＳＩＳ株式会社は平成25年2月より購入者に対し、ダイレクトメール等にて製品の使用方法に関する注意喚起及び製品の回収・交換に関する周知を実施している。	(受付:2012/09/11)
A201200453 2012-1448 2011/11/00 （事故発生地） 福岡県	車庫用門扉 東洋エクステリア株式会社（現　株式会社ＬＩＸＩＬ） KNP57	当該製品に触れたまま稼動スイッチを押したところ、指を挟み負傷した。 （重傷）	事故原因は、スイッチのそばに回動部分があり、スイッチを操作した際、誤って指が挟まれやすい構造となっているためと考えられる。	東洋エクステリア株式会社（現株式会社LIXIL）は平成１９年５月２８日にプレスリリース、翌２９日に新聞や自社ホームページに社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償回収を実施している。	(受付:2012/09/20)
A201200586 2012-1974 2012/10/10 （事故発生地） 愛知県	折りたたみ椅子 コーナン商事株式会社 KKG18-0771	当該製品に座ったところ、当該製品の座面裏の金具が外れて臀部を強打し、負傷した。 （重傷）	当該製品の脚開き止め金具に溶接不良があり、強度が不足していたため、着座した際に溶接部が外れて、脚が折りたたまれたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/11/06)

製品区分：　04.家具・住宅用品

No. 0098

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200590 2012-1979 2012/10/03 （事故発生地） 東京都	電動座椅子（座面昇降型） コクヨファニチャー株式会社 HE-CJES20RS1	当該製品に着座中、座面を下げたところ、座面と床の間に足を挟み、負傷した。 （重傷）	当該製品の座面と支持部品は分離している構造であったが、当該製品の取扱説明書には、座面落下の危険性に関する記載が十分でなかった。事故の原因は、当該製品の座面落下の危険性に関する周知が十分でなかったために、当該製品の肘部が、横に置いてあった座椅子の肘部に引っ掛かって座面支持部品のみが下降し、使用者の動作で引っ掛かりが外れた際に座面が落下して事故に至ったものと考えられる。	コクヨファニチャー株式会社は、2012年12月生産分から、「周囲にものを置かない旨と、下降時に座面や肘が周囲のものに引っ掛かかると外れて急に落下する危険性がある」旨のイラスト付き注意表示シールを本体脚部に貼付するとともに、取扱説明書にも同様の内容を追加している。	(受付:2012/11/07)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000440 2010-1047 2010/05/08 （事故発生地） 千葉県	折りたたみ自転車（小径車） 株式会社価格ネット A-RideX　ＴＷＴ0026	当該製品で走行中、段差を通過しようとした際、当該製品のフレームが折れ、前方へ転倒し、負傷した。 （重傷）	○当該製品の前方下側フレームのメインロックボタンの左右穴部が楕円形に変形していた。○前方下側フレームの上部が破損しており、破損部を観察した結果、延性破面及び粒界割れが確認された。○前クイックリリースの締め付け力は緩かった。○当該製品の強度に異常は認められなかった。●当該製品に乗車中、段差を上り下りしたときに前輪の後ろ方向に衝撃力が加わり、前方下側フレームの上部が変形し、前クイックリリースが外れ、前方下側フレームの切り欠き部から後方に引き裂かれるように破断したため、バランスを崩し、転倒した可能性があると推定されるが、製品の強度に異常は認められず、さらに強い衝撃力が加わった要因が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/08/25)
A201001093 2010-4695 2008/12/23 （事故発生地） 静岡県	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCS-MSG	幼児（３歳男児）を当該製品に乗せて自転車で走行中、当該製品のネジの緩みから右側足乗せ部分が外れ、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷した。 （重傷）	当該製品の足乗せ取付部ネジの緩み脱落から右側足乗せ部分が外れ、幼児の足が車輪に巻き込まれ負傷したものと考えられるが、ネジが緩んだ原因の特定には至らなかった。	ブリヂストンサイクル株式会社は当該製品を含む型式について平成22年9月22日に新聞社告を掲載しその後も継続して事業者のｵﾝﾗｲﾝ登録者へのﾒｰﾙ発出子育て中の女性向けｳｪﾌﾞｻｲﾄへの広告の掲載育児雑誌に広告を掲載し樹脂製の製品と無償交換を呼び掛けている。また次のとおり継続して無償交換を呼び掛けている。・平成23年1月7日に主要紙への新聞社告を再度掲載・平成23年1月末に全国の自転車販売店へﾎﾟｽﾀｰ及びﾁﾗｼの再配布を実施、全国の幼稚園及び保育園へのﾎﾟｽﾀｰ掲示とﾁﾗｼの配布等を実施・本年4月12日に更にﾎﾟｽﾀｰを改訂し新聞折込の開始全国自転車販売店への再配布及び全国幼稚園、保育園へのﾎﾟｽﾀｰ再掲示とﾁﾗｼの再配布を実施・平成23年9月13日に3回目となる主要紙への新聞社告を掲載及び内容を改訂したﾁﾗｼを再配布・本年10月11日に全国販売店へﾘｺｰﾙの呼びかけﾁﾗｼをA3ｻｲｽﾞの下敷で配布実施中。	(受付:2011/03/16)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001115 2010-4765 2009/04/13 （事故発生地） 大阪府	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCS-NRX	幼児（4歳男児）を当該製品に乗せて自転車で走行中、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷した。 （重傷）	○購入後７か月で左足乗せが破損、脱落した。○左足乗せが無い状態で当該製品を使用し、男児の足が後輪に巻き込まれ負傷した。○当該製品は事業者が事故の情報を入手した時点で既に使用者によって処分されていたため、確認できなかった。●当該製品の左側の足乗せが破損し、足乗せの無い状態で幼児を当該製品に乗せていたため、左脚が後輪に巻き込まれ、負傷したものと考えられるが、当該製品は廃棄されており、足乗せの破損部の確認・分析ができなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/24)
A201100966 2011-4111 2011/12/26 （事故発生地） 大阪府	折りたたみ自転車 株式会社アキボウ CurveSL(PJA695)	当該製品で走行中、当該製品のハンドルステム（ハンドルとフロントフォークをつなぐ支柱）が折りたたまれ、転倒し、負傷した。 （重傷）	○当該製品の外観は、ペダルの端部に多少傷があった他は、擦過痕や錆等は認められなかった○ハンドルステム及びハンドル周辺に過大な衝撃が加わったような痕跡は認められなかった。○ハンドルステムのヒンジ部は、固定に必要なツメが折損し、ハンドルステムの上部に付いているツメを固定するためのクランプを固定するホルダーの破損が認められた。○破損したツメとホルダーの破面には、疲労破壊及び延性破壊の痕跡が認められた。●当該製品にハンドル周辺に衝撃を受けた痕跡がなく、破断面に疲労破壊及び延性破壊の痕跡が認められたことから、恒常的に加速時等でハンドルを手前に引く力がツメに加わり疲労破壊したものと推定されるが、詳細な使用状況等が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/10)
A201100991 2011-4159 2011/11/03 （事故発生地） 千葉県	車いす 株式会社幸和製作所 B-31	当該製品に家人を乗せて押していたところ、当該製品の右側後輪が外れたため、傾いた当該製品を支えた際、負傷した。 （重傷）	当該製品は、製造段階で後輪を車体に組み付ける際にナットの締め付け不足があったために、走行中に車輪がはずれて事故に至ったものと考えられる。なお、当該製品はSGマークを取得している。	株式会社幸和製作所は、当該製品について、事故の再発防止を図るため、ナット締付け時のトルク管理を含む製造工程の改善を検討することとしている。	(受付:2012/02/14)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101012 2011-4233 2012/02/09 （事故発生地） 香川県	電動車いす（ハンドル形） 株式会社アテックス YM-10	使用者（60歳代）が、当該製品で走行中、踏切内で列車にはねられ死亡した。 （死亡）	○使用者は当該製品に乗車し１人で道路の左側を走行していた。また、事故現場の踏切は、周辺に道路灯や防犯灯もなく夜間は暗かった。○目撃情報によれば、当該製品は踏切に入るまで異常なく走行しており、使用者は遮断機が降りても踏切内に居たことが確認された。○当該製品のライトは点灯した状態で転倒していなかった。○踏切に脱輪した痕跡があった。○当該製品は、事故後警察で廃棄処分されており、確認ができなかった。●当該製品は踏切に進入するまでは正常に走行し、暗い踏切を渡ろうとした時に脱輪し、身動きが取れない状態で列車に接触したものと推定されるが、事故状況の詳細が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/20)
A201101024 2011-4261 2011/11/14 （事故発生地） 静岡県	歩行補助車 株式会社幸和製作所 OD-18	当該製品に着座する際、当該製品のフレームが折れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品は、座面に座ったときの衝撃荷重により変形が生じ、折損に至ったものと考えられ、製品に起因する事故と考えられるが、詳細な使用状況などが不明のため、事故原因の特定には至らなかった。なお、当該製品はSGﾏｰｸを取得している。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/23)
A201101036 2011-4208 2012/02/09 （事故発生地） 東京都	自転車 ビーズ株式会社 402Sanctum	当該製品で走行中、前輪が外れ転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品の前ホークに脱輪防止装置がなかったことから、クイックレリーズの調整ナットの締付けが十分でなかった前輪の固定部が、使用を続けるうちに緩んだ際、前輪が外れ、事故に至ったものと考えられる。　なお、取扱説明書と本体表示には、「ネジの緩みがないこと、前輪の固定はしっかり取り付けられていることやクイックレリーズのレバーが確実に倒れていることを確認する」旨、表記されている。	ビーズ株式会社では、平成24年4月21日以降に輸入する自転車で、前輪クイックレリーズタイプの製品について、脱輪防止装置を装備。同時に、車輪取付部に貼付する注意書きについて、従来から貼り付けられていたものに加えてさらにもう1ヶ所追加した。また現在、取扱説明書のクイックレリーズに関する記載の見直を実施している。	(受付:2012/02/24)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101058 2011-4300 2012/01/31 （事故発生地） 東京都	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCSNRX.A	幼児（6歳）を当該製品に乗せて自転車で走行中、右側足乗せ部が外れ、幼児の足が後輪に巻き込まれ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品を取り付けた際に、足乗せ部を説明書と異なる組付けをしたことから、製品本体に十分に固定されず、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部の取付板が破損し、事故に至ったものと考えられる。	ブリヂストンサイクル株式会社は当該製品を含む型式について事故の再発防止を図るため平成22年9月22日に新聞社告を掲載しその後も継続して事業者のｵﾝﾗｲﾝ登録者へのﾒｰﾙ発出子育て中の女性向けｳｪﾌﾞｻｲﾄへの広告の掲載育児雑誌に広告を掲載し樹脂製の製品と無償交換を呼び掛けている。また次のとおり継続して無償交換を呼び掛けている。・平成23年1月27日に主要紙への新聞社告を再度掲載・平成23年1月末に全国の自転車販売店へﾎﾟｽﾀｰ及びﾁﾗｼの再配布を実施、全国の幼稚園及び保育園へのﾎﾟｽﾀｰ掲示とﾁﾗｼの配布等を実施・平成23年4月12日に更にﾎﾟｽﾀｰをより注意を引きやすい形に改訂し新聞折込の開始、全国自転車販売店への再配布及び全国幼稚園保育園へのﾎﾟｽﾀｰ再掲示とﾁﾗｼの再配布を実施・平成23年9月13日に3回目となる主要紙への新聞社告を掲載及び内容を改訂したﾁﾗｼを再配布･平成23年10月11日に全国販売店へﾘｺｰﾙの呼びかけﾁﾗｼをA3ｻｲｽﾞの下敷で配布実施中	(受付:2012/02/28)
A201101090 2011-4034 2011/12/06 （事故発生地） 神奈川県	電動車いす（ジョイスティック形） ペルモビール株式会社 C300PS	当該製品で走行中、違和感を感じ、停止して確認すると、左足が当該製品の外に出ており、病院で骨折していることが確認された。 （重傷）	○当該製品がアスファルト舗装路を走行中に突然左に旋回したため、使用者が停車させたところ左足が足乗せから落ちていた。○アスファルト舗装路は広く平坦で、障害物となりうるものは認められなかった。○当該製品は、事故直前にインターロッキング舗装路を走行しており、車体が振動していた。○使用者は、事故以前から乗車中に足乗せから左足が落ちやすいと感じており、自分自身で足乗せに滑り止めシートを敷くなどしていたが、販売事業者には相談していなかった。○当該製品のサイドガード（乗車中に足が左右に動くのを制限するために、肘掛けの下に付いている部品）は小さく、左太股はシートの外側に動きやすい状態だった。○使用者の靴の左足つま先には、事故以前にはなかった擦過痕が認められた。●事故直前の車体の振動によって当該製品の足乗せから左足が滑り落ちたために、左足が車体の一部と接触してつま先を強く擦りながら巻込まれ、事故に至った可能性が考えられるが、事故状況の詳細が不明なため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/07)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201101145 2011-4509 2011/12/04 （事故発生地） 東京都	自転車 ダイナソア株式会社 ＴＩＭＥ　ＶＸＲ	当該製品で走行中、ヘッドチューブ（フロントフォークの上のフレームの一部）が折れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	○使用者は事故の約1年前に当該製品を中古品として購入し、通勤等に使用していた。○使用者が当該製品を購入する以前の使用履歴は不明であった。○使用者が当該製品で平坦な舗装路を走行中に、当該製品から異音がしたため、強くブレーキをかけたところ、ヘッドチューブが破断し、転倒した。○事故現場に障害物や溝はなかった。○当該製品のヘッドチューブは、上パイプと下パイプとの接続部から破断しており、積層材が接着面から剥離していた。○ヘッドチューブの側面と、上パイプの破断部近傍に擦過痕が認められた。●当該製品の上下パイプとヘッドチューブの接合部付近の積層材の接着面に剥離が生じて進展し、強くブレーキをかけた際の負荷で破断に至ったものと考えられるが、事故以前の当該製品の詳細な使用状況が確認できず、積層材に剥離が生じた経緯が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/23)
A201101148 2012-0006 2012/03/13 （事故発生地） 静岡県	電動アシスト自転車 ヤマハ発動機株式会社 PZ26 X215	当該製品で走行中、異音とともにフレームが折れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	○当該製品のフレームは、ドライブユニット取り付けブラケットの溶接端部で折損していた。○破面には、左右溶接部を起点とする疲労破壊の痕跡が認められた。○破壊起点の溶接部右側は、パイプ母材を著しく溶融する溶接ビード（溶接跡）となっていた。○当該製品は、左右のクランクとペダルが交換され、チェーンケースを固定するステーが変形し、チェーンケース表面には擦り傷が認められた。●当該製品は、フレーム溶接部に微細な亀裂が発生したため、使用過程で徐々に亀裂が進行し、折損に至ったものと推定されるが、微細な亀裂の原因が溶接ビードの不具合によるものか、走行中に加わった衝撃によるものか不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/26)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200042 2012-0223 2012/03/20 （事故発生地） 福岡県	電動アシスト自転車 パナソニックサイクルテック株式会社 BE-END633	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○バッテリーは全てのセルにおいて、破裂や出火の痕跡は認められなかった。○バッテリーケース内部の基板は焼損が著しく、基板上の部品の異常の有無は確認できなかった。○駆動ユニットは外部は焼損していたが、内部は焼損していなかった。●当該製品の主要な電気部品には、出火の痕跡は認められず、外部からの延焼によって焼損した可能性が考えられるが、制御基板の部品の異常の有無が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/04/16)
A201200102 2012-0358 2012/04/16 （事故発生地） 沖縄県	折りたたみ自転車 株式会社ジャパーナ ＩＧ Ｒシティ ＲＤ	当該製品で走行中、前カゴが外れるとともにブレーキがきかなくなり転倒し、負傷した。 （重傷）	○当該製品の前ブレーキと前かごを取り付けるナット等の部品が回収されておらず確認できなかった。○事故発生後、使用者の家族が前ブレーキのナットを取り外しており、事故当時の前ブレーキの取り付け状態は確認できなかった。○同等品を用いて締め付け力を適正トルクの半分以下で締め付けて再現テストを実施したが、ネジは緩まなかった。●当該製品の前ブレーキと前カゴを取り付けるナットが緩んで外れたため、前ブレーキ等が脱落し、前輪をロックしたものと推定されるが、事故発生時の前ブレーキの取り付け状態やナットが緩んだ原因が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/07)
A201200183 2012-0563 2012/05/03 （事故発生地） 愛知県	折りたたみ自転車 ビーズ株式会社 DOPPELGANGER 211　assaultpack	当該製品で走行中、当該製品のハンドルポスト（ハンドルとフロントフォークをつなぐ支柱）の折りたたみ部分が折りたたまれ、転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品は、取扱説明書にハンドルポストの組み立て方法の記載がなかったため、使用者が誤った方法でハンドルポストを組み立て、ハンドルポストの固定が不完全になっていたことから、走行中に折りたたまれ事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/05)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200197 2012-0598 2012/05/17 （事故発生地） 東京都	自転車用幼児座席 株式会社マルイ TCS2000	当該製品に乗せた幼児（3歳）を降ろすため、当該製品のグラブバー（乗車中に手を置いてつかまる部分）を上げたところ、幼児の指がヒンジ部（グラブバーの支点部）に挟まれ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品のグラブバーのヒンジ部に隙間があり、グラブバーを上げた際、グラブバー縁に巻き込まれヒンジ部の内側に引き込まれる構造であったことから、幼児が隙間に指を入れていたところ、グラブバーを引き上げた際、ヒンジ部に指が挟まり負傷したものと考えられる。	株式会社マルイは、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年７月３０日からホームページに事故への注意と対策について掲載するとともに、国内正規取扱店を通じて安全対策キット（ヒンジ部のヒンジカバー及び使用説明書）の無償提供を実施している。	(受付:2012/06/11)
A201200239 2012-0634 2012/05/21 （事故発生地） 神奈川県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル株式会社 アンジェリーノアシスタ SRD A26L40	倒れていた当該製品を起こそうとした際に、指を負傷した。 （重傷）	当該製品のヘッドパイプ部（フレームの一部）に取り付けられている歯車の下部が、ケースから露出し指が入り込む構造であったが、指はさみに関する注意表示がなかったことから、使用者が自転車を起こす際にヘッドパイプ部を持ったため、歯車とケースの隙間に指を挟み込み、事故に至ったものと考えられる。	ブリヂストンサイクル株式会社は平成24年9月27日に自社ホームページに指挟みに関する注意喚起を実施している。	(受付:2012/06/29)
A201200264 2012-0716 2012/06/20 （事故発生地） 千葉県	電動アシスト自転車 本田技研工業株式会社 UB04	当該製品を屋外に置いていたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、雨等の水分がバッテリーケース内部に浸入することで結露が発生し、基板の電気腐食が進み、基板上の回路がショートし出火に至ったものと考えられる。	製造事業者である本田技研工業株式会社では、平成13年2月14日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償改修を実施している。	(受付:2012/07/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200305 2012-0967 2012/07/18 （事故発生地） 三重県	三輪自転車 武田産業株式会社 ＴＣＦＧ－２０３Ｕ	当該製品で走行中、突然スイング機構（車体を左右に傾ける仕組み）が固定され、カーブを曲がれず河原へ落下し、負傷した。 （重傷）	○当該製品は後輪が二輪の三輪自転車で、ハンドルに付いているスイング切替レバーを操作することで、車体のスイングと固定が切り替えできるものであった。○落下場所は緩やかな下り坂で、わずかに右にカーブしている場所であった。○事故当時にスイング切替レバーがスイング側になっていたか、固定側になっていたか確認できなかった。○スイング切替レバーは内側が破損し、スイング切替レバーの軸ボルトが緩んでいたが、軸ボルトを締め付れば固定は可能であった。●当該製品で走行中、何らかの理由によりカーブを曲がり切れずに事故に至ったものと推定されるが、事故当時の詳細な使用状況等が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/07/24)
A201200386 2012-1235 2012/07/23 （事故発生地） 広島県	電動車いす（ジョイスティック形） ヤマハ発動機株式会社 X0C1	当該製品から入浴専用車いすに移乗していたところ、跳ね上げてあった当該製品フットサポートの底面に足が当たり、負傷した。 （重傷）	当該製品のフットサポート底面の袋ナットが底面から突き出ていたことから、走行中に縁石や段差等に接触し傷やバリができたため、介助者が移乗させようとして、電動車いすを左斜め後方に引いた際、跳ね上げた状態のフットサポート底面の袋ナット先端に使用者の足が接触して負傷に至ったものと考えられる。	ヤマハ発動機株式会社は2012年4月以降販売分より、底面から先端が突き出ない構造に変更している。	(受付:2012/08/28)
A201200458 2012-1454 2012/08/03 （事故発生地） 愛知県	折りたたみ自転車 株式会社ケイ・エイチ・エス・ジャパン 10F-18	当該製品で走行中、破損し、バランスを崩したため、転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品は折たたみ式ペダルの強度が十分でなかったことから、折たたみ軸側の固定部に亀裂が生じたところ、ペダリングの繰り返しで亀裂が進行し、ペダル枠が外れて転倒に至ったものと考えられる。	株式会社ケイ・エイチ・エス・ジャパンは、当該製品について、事故の再発防止を図るため、平成２４年１２月２８日からホームページに情報掲載を行うとともに、販売窓口を通じて電話連絡により所有者に対する周知を実施し、対象製品について当該製品に使用された折りたたみ式ペダルの無償交換を実施している。	(受付:2012/09/21)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

No. 0107

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200871 2012-3024 2013/01/13 （事故発生地） 神奈川県	自転車 株式会社川島洋行 ZERO100S.C.	当該製品で走行中、転倒し、負傷した。 （重傷）	事故原因は、現在、調査中であるが、繰り返しの使用の加重によりクランプ部分が破断し事故に至ったものと考えられる。	販売事業者であるカワシマサイクルサプライ他３社では、事故の再発防止を図るため、3月15日、ホームページへの掲載を行うとともに販売店店頭での告知ポスター掲示、スポーツサイクル専門誌への告知広告掲載などを順次実施し、対象製品について部品交換を実施している。	(受付:2013/02/05)

製品区分：　06.身のまわり品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100532 2011-2879 2011/10/12 （事故発生地） 大阪府	ライター（点火棒） 株式会社東海 GM4	店舗において、当該製品を使用後、棚に置いていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品を用いてこんろに点火後、近くの棚上、プラスチックトレー付近に置いて、その場を離れていたところ火災が発生した。○当該製品の外観は原型をとどめていたが、表面の半分以上に熱を受けた痕跡が認められた。○表示の有無は確認できなかった。○当該製品は、事業者が入手する前に廃棄されていた。●当該製品は使用後、棚の上に置かれた時に残火、若しくは、使用者が消火を確認せずに棚の上に置いたこと等何らかによって出火したものと推定されるが、当該製品の確認ができず、使用状況及び事故発生状況の詳細が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/10/28)
A201100976 2011-4091 2012/02/05 （事故発生地） 群馬県	ライター（注入式） ウインドミル株式会社 MT-69	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品は、車内で激しく燃えていたドリンクホルダー等の焼け跡から黒こげ状態で発見された。○ドリンクホルダー周辺には車の電装品を含め、当該製品以外に火元と考えられるものはなかった。○当該製品は焼損が著しく、熱により変形し、左右の嵌合部が開いた状態であった。○Ｘ線観察の結果、当該製品の操作レバーの足が下がっていた。●当該製品の使用後に操作レバーの戻りが悪く、残火が発生して火災に至った可能性が考えられるが、操作部の焼損が著しく、詳細な使用状況も不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/02/10)
A201101152 2012-0007 2012/01/18 （事故発生地） 東京都	充電器（モバイル機器用） 株式会社リンケージ 液晶電池残量表示付パワーバッテリー ▪	当該製品から発煙し、周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	○当該製品に刺しキズや叩いたような痕跡は認められなかった。○バッテリー内部の銅箔を確認したところ、熱による溶解で数カ所穴が開いていることが認められた。●当該製品は何らかの原因によって、バッテリー部分が発熱したものと推定されるが、使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/03/26)

製品区分：　06.身のまわり品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200129 2012-0348 2012/04/08 （事故発生地） 東京都	バッテリーパック（ノートパソコン用） ロワジャパン有限会社 AL23-901-W	当該製品をバッグに入れて歩行中、当該製品から発煙し、当該製品及びバッグを焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のバッテリーセル（６本）のうち１本のセルが内部短絡していたものと考えられるが、当該セルの焼損が著しいことから内部短絡が発生した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/05/15)
A201200210 2012-0650 2012/04/22 （事故発生地） 長野県	腕時計 株式会社マルマンプロダクツ MR003	使用者（小学生）が、当該製品を装着したまま就寝したところ、右手首に火傷を負った。 （重傷）	事故原因は、製造時の内部部品取り付け不良により、部品間が通電していたため、当該製品のリュウズ（時計の側面に付けられた突起）と裏蓋に長時間肌が同時に触れていたことで、肌に持続的に電流が流れ火傷を負ったものと考えられる。	株式会社マルマンプロダクツは、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年３月６日にホームページに情報を掲載し、対象製品について、無償点検・修理を実施している。	(受付:2012/06/18)
A201200234 2012-0787 2011/12/00 （事故発生地） 埼玉県	靴（スニーカー） 株式会社ムーンスター キャロット1097	幼児（2歳）が当該製品を履いていたところ、中底が靴内で盛り上がっており、右足を負傷していた。 （重傷）	○当該製品は、右足の靴のつま先右側部分の中敷きの一部に隆起が生じており、その大きさは約２ｃｍ×３ｃｍ×０．３ｃｍであった。○使用者の右足の指は、第３指から５指にかけて第１指側に傾いており、第３指が第２指の下に潜り込む形となっていた。○当該製品の中敷きの先端と使用者のつま先の間には、２ｃｍ程の隙間が認められた。○右足の指の変形と当該製品の中敷きの下の隆起に因果関係を示す医学的見解は得られなかった。●当該製品の右足の中敷きの下に製造不良による隆起が認められたことから、使用者の足の指が当該隆起の影響を受けていた可能性が考えられるが、足の指の変形との間に明確な因果関係が認められなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/06/27)

製品区分：　06.身のまわり品

No. 0110

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　　名	事　故　通　知　内　容	事　　故　　原　　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200621 2012-1488 2012/10/01 （事故発生地） 広島県	腕時計 株式会社マルマンプロダクツ MR003	子供（6歳）が当該製品を装着したまま就寝したところ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、製造時の内部部品取り付け不良により、部品間が通電していたため、当該製品のリュウズ（時計の側面に付けられた突起）と裏蓋に長時間肌が同時に触れていたことで、肌に持続的に電流が流れ火傷を負ったものと考えられる。	株式会社マルマンプロダクツは、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２４年３月６日にホームページに情報を掲載し、対象製品について、無償点検・修理を実施している。	(受付:2012/11/21)

製品区分：　07.保健衛生用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200057 2012-0240 2012/04/11 （事故発生地） 大阪府	手指保護具（口腔用） 株式会社オーラルケア L/S	施設内で当該製品を使用中、当該製品の一部が破断して患者の口腔から体内に入り、病院に搬送後、窒息による死亡が確認された。 （死亡）	当該製品には劣化の痕跡や破損の起因となるような異常は認められないが、何らかの原因で内側からクラックが生じ、継続的な使用によって破断したものと考えられる。なお、パッケージには、使用上の注意は記載されているものの、内側の破損や破損時の危険性等の注意喚起の表示が無く、現行の注意表示では不十分であると考えられる。	株式会社オーラルケアは、当該製品について、事故の再発防止を図るため、今後販売する製品について、改善した取扱説明書を同梱することとしている。	(受付:2012/04/19)
A201200390 2012-1284 2012/04/26 （事故発生地） 広島県	炭酸美容器 株式会社高陽社 DVMRA	訪問販売員と会談中、当該製品のホース部が破裂し、負傷した。 （重傷）	当該製品のレギュレーター低圧側に安全装置が取り付けられていなかったため、高圧側と低圧側のシール部に不具合が生じ、低圧側にガスが漏洩した際に、ホース部（チューブ）の内圧が異常上昇する状態となり、ホース部が破裂した際の破裂音で負傷したものと考えられる。	株式会社高陽社は、製品改良を実施するとともに、平成24年5月25日より、当該製品のレギュレーターの回収・交換を実施している。	(受付:2012/08/29)
A201200391 2012-1285 2012/06/15 （事故発生地） 大阪府	炭酸美容器 株式会社高陽社 DVMRA	当該製品を使用後、しばらくして、当該製品のホース部が破裂し、負傷した。 （重傷）	当該製品のレギュレーター低圧側に安全装置が取り付けられていなかったため、高圧側と低圧側のシール部に不具合が生じ、低圧側にガスが漏洩した際に、ホース部（チューブ）の内圧が異常上昇する状態となり、ホース部が破裂した際の破裂音で負傷したものと考えられる。	株式会社高陽社は、製品改良を実施するとともに、平成24年5月25日より、当該製品のレギュレーターの回収・交換を実施している。	(受付:2012/08/29)

製品区分：　07.保健衛生用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201200392 2012-1286 2012/06/18 （事故発生地） 香川県	炭酸美容器 株式会社高陽社 DVMRA	当該製品を使用後、しばらくして、当該製品のホース部が破裂し、負傷した。 （重傷）	当該製品のレギュレーター低圧側に安全装置が取り付けられていなかったため、高圧側と低圧側のシール部に不具合が生じ、低圧側にガスが漏洩した際に、ホース部（チューブ）の内圧が異常上昇する状態となり、ホース部が破裂した際の破裂音で負傷したものと考えられる。	株式会社高陽社は、製品改良を実施するとともに、平成24年5月25日より、当該製品のレギュレーターの回収・交換を実施している。	(受付:2012/08/29)

製品区分：　08.レジャー用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100834 2011-3759 2011/12/19 （事故発生地） 神奈川県	運動器具（バンドを使用した運動用） 株式会社カワセ KW-752	当該製品を使用中、当該製品が切れて右目に当たり負傷した。 （重傷）	当該製品の梱包時に製品表面に折れ目がついたために、そこからしわが生じて使用中に亀裂に成長し、破断に至った可能性が考えられるが、折れ目による顕著な強度低下が認められなかったことや、当該製品表面に材料の欠けが認められたことから、折れ目の以外の製品表面の傷なども事故発生に関与した可能性が考えられ、製品に起因する事故と考えられるものの、詳細な事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/01/16)
A201200467 2012-1483 2012/09/08 （事故発生地） 岐阜県	靴（野球用） ミズノ株式会社 ウエーブフランチャイズ プライムエディション２ ＫＰ－５５７１４	当該製品を履いて野球をしていたところ、バランスを崩し、転倒、左手首を負傷した。 （重傷）	○使用者は野球の守備練習中にバランスを崩して転倒し、左手首を骨折していたが転倒時の状況を覚えておらず、目撃者もいなかった。○当該製品のサイズ２２．５ｃｍは使用者の足の長さに適合していたが、靴ひもを締めた際、靴ひもが余るため、ひもを踏まないように輪っかを大きくして使用していた。○スパイク形状は、引っ掛かりが生じ易い形状ではなかったが、突起形状であることから、靴ひもの輪っかが引っ掛かる可能性はあった。○当該製品の靴ひもの長さは１２０ｃｍであったが、２０１１年９月から他の靴と統一を図るため、１１０ｃｍに変更されていた。●当該製品を着用中に、大きくしていた靴ひもの輪っか部分にスパイクが引っ掛かり転倒した可能性は考えられるが、事故時の状況は不明であり、足が滑ってバランスを崩して転倒に至った可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2012/09/26)